

郡 山 女 子 大 学
郡山女子大学短期大学部

平 成 27 年 度

研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成27年4月 ～ 平成28年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
影 山 彌	郡山市における地域包括ケアシステム構築へ向けての取り組みと課題	共著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第52集	本論文は、郡山市における高齢者の介護をめぐる状況を明らかにするとともに、「住み慣れた地域で最後まで」を目指す地域包括ケアシステムの構築に向けて、市の取り組みと課題について考察したものである。
石 堂 常 世	（著書） 『最新教育原理』改訂版	共編著 （安彦忠彦）	2016年 3 月	勁草書房	『現代教育の原理と方法』2004を、勁草書房から12年目を経て全面改訂した。教職・教員について学ぼうとする学校教員や大学の教職課程受講者に向けて編纂した教職テキスト。編著者の石堂が長く在籍した早稲田大学の教育学の教授たちを主要執筆陣とした最新版で、第1章「教育の目的」改稿、pp. 3－17.
	（学会発表） 1. 「フランスにおける新訂道徳教育の内容構成・指導法、そしてその理念」	単著	2015年 7 月 4 日	第26回日本カリキュラム学会、自由研究発表、於：昭和女子大学、『発表要旨集録』 pp.47－48	Education civique（公民教育）と訳されてきたフランスの徳育が、2015年9月の新学期からMorale laïqueとして抜本的改訂が決定化している中、予告されているその徳育の内容構成、指導法、何よりも「共和主義哲学」を前面に押し出して、政教分離のモラルを説く新道徳教育の指針と周辺事情を分析。パワーポイント37枚。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 「安全・安心な都市づくり～ 郡山発 コンパクトシティ～：高 齢化社会到来の中で医療・介護連 携の地域包括システムの充実を待 つ」 於：ビッグパレット	単著 シンポジウ ム登壇報告	2015年 8 月28日	第19回日本看護管理 学会学術集会、於： 郡山ビックパレット 『大会発表要旨』 p.97	今日以降、看護はもはや病院内のこと のみではなく地域の関係医療・福祉機 関との連携の中にあなければならず、 また、その包括的システムを、自治体 としても早急に整えなければならない。 看護管理に立つリーダーたちは、こ こでいかなるフレームワークと戦略をも つべきかについて、早稲田大学におい て異業種・隣接分野間の協力体制を樹 立して成果を上げた「総合健康教育セ ンター」（現保健センター）所長時代の ノウハウを福島県の地域おこしに連動 させて論じた。 パワーポイント15枚。
	3. 「フランスの新訂道徳教育 （2015年度開始）の哲学的基盤－ 共和国再興・学校再興の論理と思 想的系譜－」	単著	2015年10月25日	2015年度日仏教育学 会研究大会。北星学 園大学『研究発表要 旨集録』 pp.7－8	本年5月の日本カリキュラム学会発表 の研究の連続研究で、本発表は、新訂 道徳教育の哲学の究明である。その哲 学的拠点は、本道徳教育施策を打ち上 げた国民教育相ヴァンサン・ピエロン が尊敬するジャン・ジョレス（Jean Jaurès, 1859－1914）の共和主義哲学に ある。教育審議会委員にはジョレス研 究者たちが任命され、共和国の市民育 成の思想基盤を打ち出していたところ、 政治的理由での内閣改造とイスラム過 激派青年たちによる狙撃事件の勃発で、 本道徳教育の出発が1年遅れとなり、 この改訂が始動のときと大きく変動し つつあることを附加した。 パワーポイント20枚。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 学会司会	荻路寛司 と共同	2015年 9 月27日	第59回大会、教育史 学会、於：宮城教育 大学、第10分科会場、 午前の部、『発表要旨 集録』 p.25	フランスの17世紀の高等教育論思想研 究と、フランス19世紀の子どもの絵本 の分析研究と、アメリカの教育哲学、 さらに戦後のアメリカ教育の導入期の 問題が発表され、質疑応答が取り交わ されたが、子どもの絵本に認められた 絵の変化と独自性は、日本の大正期の 赤い鳥運動期の絵本と比較される。
	5. 新刊紹介 (書評)	単著	2015年11月	『日仏教育学会年報』 2015年版、第21号、 pp.71－72	服部英二『未来社会の権利－地球倫理 の先覚者、J-Yクストー』2015、藤原書 店の内容紹介を兼ねた書評。環境破壊 問題を国際的課題とした探検家、海洋 学者、クストーの自然環境・生物擁護 の哲学と合わせて、彼の行動の軌跡を まとめた服部英二氏（ユネスコ元顧問） の共感と情熱をも包括して紹介した。
武 井 玲 子	(その他) 1. 足の健康と履物のリスクマネ ジメントに関する検討 －幼児教育学科の学生を対象とし た調査	共著	2015年 5 月	日本家政学会第67回 大会（於：いわて県 民情報交流センター）	本学幼児教育学科の学生を対象として、 足の健康と履物選択に関する意識と実 態、足と履物の教育に関するアンケー ト調査を実施した結果、足の健康維持 のための教育の充実と情報提供の必要 性が今後の課題といえる。共同発表 者：遠藤恵、鍋山友子、難波めぐみ
	2. 被服の着用と洗濯による色の 変化	単著	2015年 8 月	(一社) 日本家政学 会色彩・意匠学部会 平成27年度公開講演 会	「被服の着用と洗濯による色の変化」 について、リスクマネジメントの考え 方に基づいて調査した結果を講演した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 働く人のためのキャリアデザイン	単著	2015年 6 月25日	産業技術総合研究	郡山市男女共同参画学習サポート事業「さんかく教室」の講師として、産業技術総合研究所にて「働く女性のためのキャリアデザイン」の講演を行った。
山 形 敏 明	(その他) 1. 福島県の雪害対策に関する基礎的研究－雪害対策本部設置基準の状況について－	共著	2015年 9 月	雪氷研究大会 (2015・松本) 講演要旨集	福島県内市町村の雪害に対する防災力評価として、豪雪害時に設置される雪害対策本部の設置基準について調査した。
難 波 めぐみ	(学術論文) 1. 中世海上交易品に見る色材－アジア海域を取り巻く国々と赤の色について－	単著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第52集	中世アジアでは、蘇芳の色材を利用し、諸外国よりも優位に明帝国との冊封関係を築いていたことを明らかとした。
	(その他) 1. 中世海上交易品に見る色材－赤の色を探る－	単著	2015年 5 月	(一社) 日本家政学会 第67会 大会 (於：いわて県民情報交流センター)	琉球古紅型の蛍光X線分析から、染料と顔料の共用。従来の色材理解との相違が見られたことを明らかとした。
	2. 足の健康と履物のリスクマネジメントに関する検討－幼児教育学科の学生を対象とした調査	共著	2015年 5 月	日本家政学会 第67回 大会 (於：いわて県民情報交流センター)	本学幼児教育学科の学生を対象として、足の健康と履物選択に関する意識と実態、足と履物の教育に関するアンケート調査を実施した結果、足の健康維持のための教育の充実と情報提供の必要性が今後の課題といえる。共同研究者：遠藤恵、鍋山友子、武井玲子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
石 原 正 道	(学術論文) 1. Effects of the Tsallis distribution in the linear sigma model	単著	2015年10月	International Journal of Modern Physics E	線形シグマ模型を用いてカラル相転 移におけるツァリス分布の物理量への 効果を調べた。
	(その他) 1. 放射性降下物に起因する空間 線量率の分布関数	単著	2016年 3 月	日本物理学会第71回 年次大会 (学会発表)	福島県内における空間線量率の相対頻 度の分布を求め、空間線量率の分布を 記述する分布関数を求めた。
熊 田 伸 子	(学術論文) 1. 郡山市における地域包括ケア システム構築へ向けての取り組み と課題	共著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第 52集	郡山市における高齢化の状況、介護給 付サービス等の整備状況から、地域包 括ケアシステム構築へ向けての課題を 明らかにした。
垣 花 真一郎	(学術論文) 1. 幼児の仮名文字の読み習得に 影響する文字側の諸要因 (査読 付)	単著	2015年 9 月	発達心理学研究, 26巻, pp.237-247	仮名文字の読み正答率と各文字の特徴 の関係を検討した。清音文字の場合、 五十音図順が最も強い要因だった。
	(その他) 「学会発表」 1. 説明における聞き手の理解状 況のモニタリングが説明内容に及 ぼす影響	共著	2015年 8 月	日本教育心理学会第 57回総会発表論文集 (朱鷺メッセ (新潟 コンベンションセン ター)) p.364	大学生の説明場面を観察した結果、相 手の理解不足を感じた回数の多い者ほ ど解釈的な説明を行っていた。共著 者：伊藤貴昭、垣花真一郎 (計画立案、 分析、一部執筆を担当)

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
佐 藤 典 子	(著書)				
	1. N.SATOの生活科学実験講座 ①食と健康	単著	2015年10月	教育図書	2007年6月に初版が発行されたが、食品表示法施行等の法令改正に伴い、内容の大幅改訂を行い、第5版を刊行した。
	2. N.SATOの生活科学実験講座 ②食生活と食文化	単著	2015年10月	教育図書	2008年6月に初版が発行されたが、国民健康栄養調査等の最新データへの大幅改訂を行い、第5版を刊行した。
	(学術論文)				
	1. サテライト校における家庭科教育の現状と課題 －福島県相双地区の調査を踏まえて－	共著	2016年3月	郡山女子大学紀要 第52集	サテライト校に勤務する家庭科教員にヒアリング調査を実施し、次のことが分かった。 1. サテライト校は、2015年4月現在、8校設置されている。 2. 校舎は、プレハブ仮設や大学の校舎を転用しており、家庭科室がなかった。 3. 家庭科教育の今後の課題として、「人生設計」や「職業観の形成」の充実などが挙げられた。
	(その他)				
	口頭発表	共著	2015年6月	日本家庭科教育学会 第58回大会	東日本大震災直後から、福島県教育員会は、サテライト方式高等学校を設置して学習の機会を提供している。サテライト校の家庭科教育の現状を調査し、今後の支援について提案した。
	1. サテライト校における家庭科教育の現状と今後の支援				
	2. 理科と家庭科の教科間連携	単著	2015年8月	日本理科教育学会 第65回大会	初等理科と家庭科の教科間連携の事例について教科書分析をととして提案した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 科学実験を活用した食育体験 講座	単著	2015年 9 月	日本科学教育学会 第39回年回	2013年にアカデミアコンソーシアムふくしまの「強い人材」育成プログラムの一つとして開催された「かえるかわうち空と大地の夏祭り」の取り組みについて報告した。
	4. 特別支援学校高等部における 家庭科教育の現状	共著	2015年11月	日本食生活学会 第51回大会	福島県内の特別支援学校高等部の家庭科教育に携わる教員に、授業の学習内容や指導方法等を調査した。 また、個々の生徒の障がいに合わせて授業を行う際の留意点や工夫についてヒアリング調査を行った。
	ポスター発表 1. 家庭科におけるキャリア教育 の可能性の検討 －被災地の高等学校家庭科教員対 象調査結果から－	共著	2015年 6 月	日本家庭科教育学会 第58回大会	福島県、宮城県、岩手県の高等学校家庭科教員にアンケート調査を行い、授業におけるキャリア教育の取り組み状況を調査した。
	依頼原稿 1. 家庭科教育学会関東地区会例 会に参加して	単著	2016年 3 月	日本家庭科教育学会 関東地区会	2015年度末に発行される会報に、2015年12月に開催された例会の課題研究報告についてのコメントを依頼され、寄稿した。
	年度末報告書 1. 被災地の未来を切り拓き、生 きる力を培う家庭科におけるキャ リア教育の検討	共著	2016年 3 月	科研費研究推進会	被災地の地域コミュニティや学校教育の現状を調査し学会発表や論文をとおりて情報発信し、報告書にまとめた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
堀 琴 美	(学術論文) 1.『高校生・大学生の電子メディア利用状況とメンタルヘルスについて－スマホ依存とメディア疲れの実態－』	単著	2016年3月	郡山女子大学研究紀要第52集	高校・大学におけるスマホ普及率は95%を超え、利用時間も長時間化している。「依存気味」と自覚する者は高校生で約50%、大学・短大生で約70%。メディア利用により4～5割の学生が「頭痛・肩こり・目の疲れ」を覚え、3～4割が「だるい・やる気が出ない」経験をしたことがあるという実態が判明した。
	(その他) 1.『キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初年次教育～実践的就職活動へのサポート』	共著	2016年3月	郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。第11回、第12回授業部分執筆担当。
渡 邊 英 勝	1.『キャリアデザインⅠ』	共著	2016年3月	郡山女子大学 教養・キャリア教育推進委員会	キャリアデザインⅠの教材集を編集・執筆した。 第3回「おとな（大学生・社会人）としての素養を身に付ける」 第9回「働くためのルール 労働者の権利と義務」

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学術論文) 1. 「地域福祉推進のための市民 ソーシャルワーカーの必要性和可 可能性について」	単著	2016年3月	郡山女子大学研究紀 要第52集	現在日本の地域社会において、コミュニ ティや家族の縮小、人間関係の希薄 化などにより、社会的孤立や社会的排 除が進んでいる。介護保険サービスや 障がい者総合支援法、生活困窮者自立 支援事業等の公的な支えの整備も進め られる中においても、潜在化した地域 福祉問題が発生している。このような 問題の解決には、フォーマル・イン フォーマルの連携・協働による解決が 必要である。この連携・協働を確実に 進めていくために市民ソーシャルワー カーの養成が必要であることを明らか にした。
	2. 「社会福祉士誕生以来のソー シャルアクション衰退の要因につ いて」	単著	2016年3月	一般社団法人 静岡県 社会福祉士会研究誌 「社会福祉士しずお か第15号」	ソーシャルアクションも、国家資格で ある社会福祉士の誕生以来その衰退が 指摘されて久しいとされている。現代 社会の福祉問題を解決するためには ソーシャルアクションは重要となっ ている。そこで、その事実を確認し、そ の衰退の原因を探り、これから社会福 祉士は意図して援助技術として活用す ることを提言した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
泉 秀 生	1. 元気な子どもを育てる幼児体 育	共著	2015年 4 月30日	保育出版社	「幼児体育」のあり方や基本理念をは じめ、幼児体育の指導計画・方法・内 容の基本を広く示している。 全186頁 本人担当部分：「3章3-3, コラム 2」 編者：前橋 明 共著者：前橋 明、浅川和美、松尾瑞 穂、泉 秀生 他14名
	(学術論文) 1. 福島県郡山市の保育園幼児と 保護者の生活習慣の実態－就寝時 刻別にみた幼児の生活実態－ (査読有)	共著	2016年 1 月	「保育と保健」 Vol.22 No. 1	保育園幼児の就寝時刻が遅いほど、子 どもと保護者ともに生活が乱れ、朝晩 ともに遅い生活となることを報告した。 掲載頁：pp.36-44 本人担当部分：データ集計・分析、文 章作成・添削 共著者：前橋 明
	(その他) 「教材」 1. キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初 年次教育～実践的就職活動へのサ ポート	共著	2016年 3 月	郡山女子大学 教養・キャリア教育 委員会	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授 業内容を検討し、教材集を作成した。 第4回・5回授業部分執筆担当。 共著者：磯部哲夫、桑野 聡、知野 愛、堀 琴美、安田純子、山口 猛、 渡邊英勝
	「学会発表」 1. 福島県郡山市の保育園幼児と 保護者の生活実態と課題	共著	2015年 6 月	日本子ども家庭福祉 学会 第16回大会（関 西学院大学）	郡山市の保育園幼児とその保護者の生 活実態調査の結果を用いて、その問題 点や課題を報告した。 本人担当部分：データ集計・分析、文 章作成・添削 共著者：前橋 明

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 福島県郡山市の保育園幼児と保護者の朝の生活実態	共著	2015年 6 月	日本食育学術会議 第10回大会（和洋女子大学）	郡山市の保育園幼児とその保護者の生活実態調査の結果から、朝の生活の問題点や課題を報告した。 本人担当部分：データ集計・分析、文章作成・添削 共著者：前橋 明
	3. 幼稚園幼児における生活習慣の実態と習い事との関連性	共著	2015年 8 月	日本幼児体育学会 第11回大会（京都ノートルダム女子大学）	幼稚園幼児2,896名の調査結果から、動的な習い事をしている子どもほど、規則正しい生活になったことを報告した。 本人担当部分：データ集計・分析、文章作成・添削 共著者：前橋 明
	4. 福島県郡山市の保育園幼児と保護者の生活習慣の実態－就寝時刻別にみた幼児の生活実態－	共著	2015年10月	日本保育保健学会 第21回大会（鹿児島市民文化ホール）	就寝時刻の遅い保育園幼児やその保護者ほど、生活時間が夜型で短時間睡眠の生活となっていることを報告した。 本人担当部分：データ集計・分析、文章作成・添削 共著者：前橋 明
	5. 福島県郡山市の保育園幼児と保護者の生活習慣の実態－保護者の就寝時刻別にみた幼児の生活実態－	共著	2015年11月	日本乳幼児教育学会 第25回大会（昭和女子大学）	夜型化した生活の保護者の子どもほど、遅寝・短時間睡眠の生活実態となっていることを報告した。 本人担当部分：データ集計・分析、文章作成・添削 共著者：前橋 明

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	6. 沖縄県に住む幼稚園幼児の生活実態に関する研究－生活習慣とあそび場所との関連性（2014年調査）－	共著	2015年12月	日本レジャー・レクリエーション学会第45回大会（武庫川女子大学）	沖縄県の幼稚園幼児の調査から「家の外」で遊ぶ幼児ほど、TV・ビデオ視聴時間が短く、健康的な暮らしであった。本人担当部分：データ集計・分析、文章作成・添削 共著者：前橋 明
阿 部 恵利子	福島県における古民家に関する考察－気候条件による室構成の相違－	共著	2015年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	福島県の7生活圏における古民家の住形式が、積雪量や冬季の気温と大きく関連していることを検証した。
	福島県における古民家に関する考察－間取りの変遷及び神仏混淆についての歴史的背景－	共著	2015年 9 月	日本建築学会大会学術講演梗概集	福島県の7生活圏における民家の間取りの変遷過程は大きく異なることが推測され、神棚と仏壇の設置については、平安初期の僧の徳一による仏教伝来に起因することが示唆された。
廣 野 正 子	（学術論文） 1. 「日本人青年におけるスピリチュアリティ評定尺度の開発」 （査読付）	共著	2015年 9 月	トランスパーソナル心理学／精神医学会誌	スピリチュアリティの構成概念に基づいた質問紙調査を、271名の大学生を対象に実施した。最尤法－プロマックス回転による因子分析を行い、5因子構造27項目の質問項目を、日本人青年スピリチュアリティ評定尺度（JYS）とした。 さらに基準関連妥当性に関してはSTSとの相関（ $r=0.69$ 、 $p<.01$ ）、PILとの相関（ $r=0.55$ 、 $p<0.001$ ）、死生観尺度との関連性で確認した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
Daniel O. Horner	(著書) 1. Integration of Culture into English Lessons : Effects on Students' Motivation (Ongoing Research)	単著	Ongoing Research (with initial submission in January of 2016)	Learner's Edge, Affiliation with St. Thomas University- Graduate School (USA)	The purpose of this research is to determine whether or not the inclusion of the cultural information of countries where the target language is spoken is crucial to the students' motivation and learning of a foreign language. There are major differences of opinion on whether the inclusion of cultural information is vital to the students' learning of English or any other foreign languages.
長 田 城 治	(著書) 宮城県の近代和風建築	共著	2016年 3 月	宮城県教育委員会	宮城県の近代和風建築について悉皆的 に調査を実施し、形式の傾向および特 徴的な建物について詳細な解説を掲載 した。筆者は、七ヶ宿町と蔵王町を担 当し、山家住宅（蔵王町）に関する 所見を報告した。 共著者：永井康雄、関口重樹、長田城 治、他10名。
	(その他) 口頭発表 1. 複合的保存修復活動による地 域文化遺産の保存と地域文化力の 向上システムの研究 －地域文化遺産保護への一つの視 点	共著	2015年 6 月	文化財保存修復学会 第37回大会	地方における文化財保存のあり方につ いて、山形県を対象にした保存活動の 実態を基に発表し、専門家と地域住民 の協力体制が不可欠なこと、保存活動 だけでなく、地域の方が誇りを持てる 文化財価値を見出すことで、未来に繋 がる保存体制が生まれたことを報告し た。 共著者：岡田靖、米村祥央、長田城治、 他 6 名。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 福島県国見町における国見石 の生産と石蔵の変遷	単著	2015年 9 月	日本建築学会大会学 術講演梗概集（建築 歴史・意匠）	福島県国見町で採掘される国見石と同 町に現存する石蔵を対象に実地調査や 聞き取り調査などを実施し、国見石の 生産と職人形態を明らかにすることで、 生産と石蔵の形成過程の関係を考察し た。
	3. 占領期岡山における接収住宅 に関する研究	共著	2016年 3 月	日本建築学会北陸支 部研究報告集	占領期に行われた建物の接収に関して 全国的な調査を実施し、本稿は岡山の 接収住宅の特徴と接収経緯について明 らかにした。 共著者：砂本文彦、大場修、長田城治、 他 3 名。
	報告書 1. 平成26年度国見町歴史まちづ くりシンポジウム記録集	共著	2015年 4 月	国見町歴史まちづく りフォーラム	平成26年度に実施した国見町でのシン ポジウムまとめた記録集に寄稿した。 共著者：平井太郎、杉本洋文、長田城 治、他 5 名。
	2. 国見町石造建造物調査報告書 －伊藤石材店石蔵および旧小坂村 産業組合石蔵に関する調査所見に ついて	単著	2015年10月	国見町	伊藤石材店石蔵および旧小坂村産業組 合石蔵（国見町）について調査・研究 を実施し、文化財的価値について報告 すると共に、登録文化財の申請に必要な 図面・写真・所見などを収録した。
	3. 登録有形文化財申請中間報告 書－温湯温泉旅館	単著	2016年 3 月	福島県	温湯温泉旅館（福島市）について実測 調査、文献資料調査により価値を精査 し、文化財指定に必要な図面類や所見 などを作成してまとめた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 山形県飯豊町における近世・近代建造物調査報告書－渡邊六郎兵衛家長屋門に関する調査所見について	単著	2016年 3 月	飯豊町教育委員会	飯豊町（山形県）依頼の調査で、渡邊六郎兵衛家長屋門について実測調査、文献資料調査を行い、建築的特徴を精査し、地域的価値も明らかにした。
	雑誌 1. もう一つの「民家」の系譜－付属屋と小屋	単著	2016年 2 月	建築雑誌、2 月号	2015年度日本建築学会大会（関東）で開催した民家小員会のパネルディスカッションの内容を報告した。
	デザイン制作 1. 平成27年度飯豊学講座地域史学習会の広報用フライヤーの制作	単著	2015年12月	主催：飯豊史話会、 共催：飯豊町教育委員会	山形県飯豊町で毎年実施している「飯豊学講座」のイベント広報用フライヤー（約3,000部）およびポスターのデザイン制作を担当した。
遠 藤 恵	（その他） 1. 足の健康と履物のリスクマネジメントに関する検討－幼児教育学科の学生を対象とした調査－	共著	2015年 5 月	日本家政学会 第67回大会（於：いわて県民情報交流センター）	本学幼児教育学科学生を対象として、足の健康と履物選択に関する意識と実態、足と履物の教育に関するアンケート調査を実施した結果、足の健康維持のための教育の充実と情報提供の必要性が今後の課題といえる。共同研究者：鍋山友子、難波めぐみ、武井玲子
藤 本 健四郎	（その他） 「学会発表」 1. 減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価（第2報）－ケア・ハウス入居者に対する調査－	共同研究	2015年 8 月	一般社団法人日本調理科学会 平成27年度大会 静岡県立大学	調理に使用する濃口醤油を減塩醤油に置き換えて、鹹味噌好試験などを実施し、減塩調理に対する味慣れについて検討報告をした。 共同発表者：菊池節子、善方美千子、長谷川浩司、小幡明雄、藤本健四郎

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 減塩しょうゆの活用による高齢者への塩分摂取低減および味慣れについて	共同研究	2015年12月	第27回福島県栄養改善学会 郡山市労働福祉会館	高齢者を対象に、減塩しょうゆを用いた減塩調理生活を実施し、鹹味噌好の変化および塩分摂取低減の可能性について検討・報告をした。 共同発表者：善方美千子、小針望、吉田里穂、長谷川浩司、小幡明雄、菊池節子、藤本健四郎
諸 岡 信 久	(学術論文) 1. 醸造酢と加工酢中の遊離アミノ酸組成	共著	2016年3月	郡山女子大学紀要第52集	全国で製造販売されている食酢（醸造酢）と加工酢製品の遊離アミノ酸組成、呈味性、機能性について検討した。 共著者：水野時子、諸岡信久、影山志保、太田実
紺 野 信 弘	(学術論文) 1. 女子大学生におけるスロージョギングの身体活動量と形態指標におよぼす影響	共著	2016年3月	郡山女子大学紀要第52集	活動量計を装着して6週間の「スロージョギング」を行い、形態指標に対する運動負荷の影響とその効果を調べた。その結果最大酸素摂取量については、被験者3名ともに運動負荷最終週で初期値に対して増加の傾向を示した。 共著者：金子依里香
藤 原 建 樹	(著書) 臨床てんかん学	共著	2015	医学書院	てんかん学会ガイドラインの項を分担執筆した。ガイドラインの概要とその活用法について解説した。
西 山 慶 治	(その他) 1. ホルモン分泌調節についてー下垂体中葉のメラニン色素細胞刺激ホルモンを中心としてー	単著	2015年11月	郡山女子大学食物栄養学科セミナー（第6回）	MSH分泌調節は視交叉上野のドーパミン神経で抑制的に行われる一方、中葉細胞間のオートクリン機構にも依る。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
鉦 野 信 子	(学術論文) 1. 「福島食」の復興について ～県民が前向きに取り組むべきこと～	単著	2015年12月	月刊 財界ふくしま 1月号	「フクシマの未来像」として、福島県民の意識改革に対する教育、食の復興への前向きな姿勢について提案した。
	2. 日本におけるベルギービールの現状と今後の展望	単著	2016年3月	郡山女子大学研究紀要第52集	多種多様なベルギービールを正しく理解するために、日本における現状を文献調査し、今後の展望を述べた。
	(その他) 1. 歴史や文化、醸造法に食べ物との相性など、様々な角度で酒を楽しんでみては？	単著	2015年12月	酒販の友 No663	筆者のこれまでの酒類との関わり方、および飲む楽しみ方以外の角度から酒類を知ることの魅力を紹介した。
	2. お酒の楽しみ方 テキーラ編 その1「テキーラ基礎講座」	単著	2016年2月	酒販の友 No665	テキーラは原産地呼称のメキシコの蒸留酒である。その起源および規則など、テキーラの基本的事項を解説した。
	3. お酒の楽しみ方 テキーラ編 その2「ラベルを読む」	単著	2016年3月	酒販の友 No666	テキーラの特徴を見極めるためのラベルの読み方、テロワールによる味わいの違いについて解説した。
菊 池 節 子	(その他) 「学会発表」 1. 郡山市の子どもたちの食生活実態調査	共同研究	2015年6月	一般社団法人日本食育学会第3回総会・学術大会 (於：宮城大学食産業学部)	郡山市の子どもたちの食事を中心とした生活実態の様子、ならびに生活環境と体重の増減の関係性について報告した。 共同発表者：菊池節子、泉 秀生、先崎和子、長野康平、中村和彦、菊池信太郎

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価（第2報） －ケア・ハウス入居者に対する調査－	共同研究	2015年8月	一般社団法人日本調理科学会平成27年度大会 （於：静岡県立大学）	調理に使用する濃口醤油を減塩醤油に置き換え、鹹味嗜好試験等を実施し、減塩調理に対する味慣れについて報告した。 共同発表者：菊池節子、善方美千子、長谷川浩司、小幡明雄、藤本健四郎
	3. 福島県郡山市内医療関係機関を対象とした管理栄養士に関わる意識調査	共同研究	2015年11月	第2回日本栄養改善学会東北支部学術総会 （於：仙台市民陵会館）	郡山市内医療関係機関を対象にアンケート調査を実施し、以前行った栄養士会会員対象のアンケート調査内容との比較検討を行った。 共同発表者：本間杏菜、関口 晋、菊池節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚子、善方美千子、中村真智子、横田和子
	4. 減塩しょうゆの活用による高齢者への塩分摂取低減および味慣れについて	共同研究	2015年12月	第27回福島県栄養改善学会 （於：郡山市労働福祉会館）	高齢者を対象に減塩しょうゆを用いた減塩調理生活を実施し、鹹味嗜好の変化や塩分摂取低減の可能性について検討した。 共同発表者：善方美千子、小針望、吉田里穂、長谷川浩司、小幡明雄、菊池節子、藤本健四郎

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「報告書」 1. 郡山市震災後子どものケアプロジェクト 運動や食事についてのアンケート報告書 (2014)	共著	2015年 3 月	「郡山市子ども の心 と体の発育身守り事 業」調査研究委員会	本報告書は平成26年度実施の郡山市の 子どもたちの生活習慣等に関するアン ケート調査結果をまとめたものである。 本人担当部分：食習慣、食事の様子 pp.9-10、35-59 共著者：菊池信太郎、中村和彦、長野 康平、岸本あすか、菊池節子、泉 秀 生、高橋千春
	「資料」 1. 18歳までの私の食生活	共著	2016年 3 月	日本家政学会食文化 会誌	昭和から平成に至る食生活の現状を正 しく記録する目的で、食に関心の高い 部会員が、18歳までの食生活を振り返 り、執筆した。
安 田 純 子	(学術論文) 1. 2015年春季全国学術研究大会 報告集「先住民（アボリジニ）観 光の懸念と課題－オーストラリア 先住民観光を事例として－」	単著	2015年 6 月	日本観光学会・総合 観光学会	近年注目されてきている先住民観光に ついて、オーストラリアの先住民（ア ボリジニ）観光を事例として考察した。
	(その他) 1. 教材 『キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初年 次教育～実践的就職活動へのサ ポート』	共著	2016年 3 月	郡山女子大学教養・ キャリア教育委員会	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授 業内容を検討し、教材集を作成した。
	2. 口頭発表 2015年春季全国学術研究大会「先 住民（アボリジニ）観光の懸念と 課題－オーストラリア先住民観光 を事例として－」	単独	2015年 6 月	日本観光学会・総合 観光学会	先住民観光について、オーストラリア の先住民（アボリジニ）観光を事例と してその懸念と課題について発表した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 研修講座修了 平成27年度第1回キャリア・カウンセラー養成研修講座		2015年6月	日本キャリア教育学会	c分野：産業・職業に関する理解・実際 a分野：進路指導、キャリア・カウンセリングの理論研修講座修了
関 口 晋	(その他) 「学会発表」 1. 福島県郡山市内医療関係機関を対象とした管理栄養士に関わる意識調査	共著	2015年11月	第2回日本栄養改善学会東北支部学術総会 (於：仙台) (P-1)	福島県郡山市内医療機関の管理栄養士に関わる現状を把握し、学生への指導法検討を目的とし調査を行った。 本人担当部分：研究計画、調査用紙作成、結果まとめ 共著者：本間杏菜、関口 晋、菊池節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚子、善方美千子、中村真智子、横田和子
	2. ハーブの香気成分が情報処理等作業において及ぼす生理・心理作用について	共著	2015年12月	室内環境学会学術大会 (於：沖縄) (P-07)	4種のハーブについて、その生理・心理作用を、それぞれ3種の情報処理等作業に関して比較した。 本人担当部分：研究計画、結果まとめ 共著者：関口 晋、菊地美希、矢吹瞳、渡辺紫帆、杉沼智、吉川梨奈、佐藤篤史
岡 部 聡 子	(学術論文) 1. 精神科外来における栄養指導効果に影響を与える要因について	共著	2016年3月	臨床栄養学雑誌	精神科外来にて1年以上栄養指導を実施した患者に対し、3年以上経過した時点で指導成果の維持状況を調査した。DEBQ質問紙(摂食尺度判定表)を活用して結果の改善群、悪化群で検定を行った。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(口頭発表) 1. 女子大生における簡易鉄摂取 量把握質問紙を用いた鉄摂取源の 分類について	共著	2015年 9 月25日	第62回 日 本 栄 養 改 善 学会学術総会	簡易的に計れる鉄摂取量評価表を作成 し、学生がどの食品から多く鉄を摂取 しているのかまた、どんな組み合わせ で食事をしているのかを調査し報告し た。
	2. 精神科外来における栄養指導 に影響を与える要因について	単著	2016年 2 月23日	郡山女子大学食物栄 養学科セミナー	精神科医療の今日までの歴史と、今後 の福島県内の精神科における栄養指導 のあり方について現在までの活動内容 を報告した。
先 崎 和 子	(その他) 「食物栄養学科セミナー口頭発 表」 1. 住民主体の健康医療政策にし ていくために 市町村による予 防・健康管理の推進と都道府県の 役割	単著	2015年 5 月	郡山女子大学食物栄 養学科セミナー	健康づくり及び栄養・食生活改善につ いて、生活習慣の発症予防と重症化予 防の観点から地域の食習慣を分析し地 域の課題をあきらかにし、発症予防の 効果的な取り組みの方向性を示した。
	「学会示説発表」 2. 郡山市の子どもたちの食生活 実態調査	共同	2015年 6 月	日本食育学会第 3 回 総会・学術大会 (宮城県仙台市)	東日本大震災後子どもたちを取り巻く 生活環境は大きく変化し、運動能力の 低下や肥満または体重増加不良の子ど もたちが増えているため、食生活の実 態を把握し、生活環境との関係性につ いて調査・研究を行った。 共同研究者：菊池節子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「学会示説発表」 3. 福島県郡山市内医療関係機関 を対象とした管理栄養士に関わる 意識調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会（宮城県仙台市）	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容 との比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
亀 田 明 美	（その他） 「学会発表」 1.（口頭発表） 児童生徒の体格と生活活動との関 連～福島県N村の実態調査から～	共著	2015年9月	第63回東北学校保健 学会	福島県N村の児童生徒個々の体格と生 活活動の実態を調査し、これらの関連 について検討するとともに、学校給食 の実施に当たって配慮すべき生活活動 について考察した。
	2.（口頭発表） 給食管理実習で提供された給食の 寄与率の検討・給食を食べた日と 食べなかった日の栄養素摂取量の 比較から	共著	2015年9月	第62回日本栄養改善 学会学術総会	給食管理実習で提供された食事を昼食 に食べた日と、食べなかった日の食事 摂取状況を調査し、昼食時の給食摂取 の有無が、1日の栄養素摂取量にどの 程度寄与するか検討した。
影 山 志 保	（学術論文） 1. Direction and measurement of the agonistic activities of PCBs and mono-hydroxylated PCBs to the constitutive androstane receptor using a recombinant yeast assay （査読付）	共著	2015年	<i>Toxicology in Vitro</i> 29, 1859-1867	組み換え酵母アッセイを用いて核内受 容体であるPCB及びモノヒドロキシ 化PCBのアゴニスト活性を測定し報告 した。（Kamata, Shiraishi, Kageyama, Nakajima） （担当：アゴニスト活性の測定、デー タ解析）

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. Atmospheric concentration and carcinogenic risk of polycyclic aromatic hydrocarbons including benzo[<i>c</i>]fluorene, cyclopenta[<i>c,d</i>]pyrene, and benzo[<i>j</i>]fluoranthene in Japan (査読付)	共著	2015年	<i>Atmospheric Environment</i> 115, 263-268	日本の大気中におけるベンゾフルオレン、シクロペンタピレンとベンゾフルオランセンを含む多環芳香族炭化水素とその発がんリスクについて報告した。 (Yagishita, Kageyama, Ohshima, Matsumoto, Aoki, Goto, Nakajima) (担当：大気捕集サンプリング、抽出、発がん性試験、データ解析)
	3. 醸造酢と加工酢中の遊離アミノ酸組成 (査読付)	共著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要 第52集	全国で製造販売されている食酢（醸造酢）と加工酢製品の遊離アミノ酸組成、呈味性、機能性について検討した。 共著者：水野時子、諸岡信久、影山志保、太田実
根 本 恵美子	(その他) 「1. 学会示説発表」 福島県郡山市内医療関係機関を対象とした管理栄養士に関わる意識調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善学会東北支部学術総会（宮城県仙台市）	郡山市内医療関係機関を対象にアンケート調査を実施し、以前行った栄養士会会員対象のアンケート調査内容との比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚子、善方美千子、中村真智子、横田和子
佐 藤 浩 明	(学術論文) 1. 新しい時代にふさわしいコーチングに関する哲学思考	共著	2016年 2 月	バレーボール学会 バレーボール研究	本研究はバレーボールの指導に生起している暴力問題やそれらに付随している多様な問題事象を優い、バレーボールの指導者を対象にコーチ学に関する考察を試みるものとする。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
郡 司 尚 子	(その他) 「1. 学会示説発表」 福島県郡山市内医療関係機関を対 象とした管理栄養士に関わる意識 調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会(宮城県仙台市)	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容と の比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
善 方 美千子	「学会口頭発表」 1. 減塩醤油を用いた減塩調理へ の慣れの評価(第2報) ーケア・ハウス入居者に対する調 査ー	共同研究	2015年8月	一般社団法人日本調 理科学会 平成27年度大会 静岡県立大学	調理に使用する濃口醤油を減塩醤油に 置き換えて、鹹味嗜好試験などを実施 し、減塩調理に対する味慣れについて 検討報告をした。 共同研究者：菊池節子、善方美千子、 長谷川浩司、小幡明雄、藤本健四郎
	2. 減塩しょうゆの活用による高 齢者への塩分摂取低減および味慣 れについて	共同研究	2015年12月	第27回福島県栄養改 善学会 郡山市労働福祉会館	高齢者を対象に、減塩しょうゆを用い た減塩調理生活を実施し、鹹味嗜好の 変化および塩分摂取低減の可能性につ いて検討報告をした。 共同研究者：善方美千子、小針望、吉 田里穂、長谷川浩司、小幡明雄、菊池 節子、藤本健四郎

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「学会示説発表」 1. 福島県郡山市内医療関係機関 を対象とした管理栄養士に関わる 意識調査	共同研究	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会 宮城県仙台市 艮陵会館	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容と の比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
中 村 真智子	(その他) 「1. 学会示説発表」 福島県郡山市内医療関係機関を対 象とした管理栄養士に関わる意識 調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会（宮城県仙台市）	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容と の比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
横 田 和 子	(その他) 「学会口頭発表」 給食管理実習で提供された給食の 寄与率の検討～給食を食べた日と 食べなかった日の栄養摂取量の比 較から～	共同	2015年9月	第62回日本栄養改善 学会学術総会（福岡 県福岡市）	給食管理実習で提供された食事を食べ た日と、それ以外の給食を食べなかつ た日の食事摂取量を調査し、昼食時の 給食の摂取の有無が、1日の栄養素摂 取量にどの程度寄与するか検討を行っ た。 共同研究者：横田和子、亀田明美

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「学会示説発表」 福島県郡山市内医療関係機関を対 象とした管理栄養士に関わる意識 調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会（宮城県仙台市）	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容と の比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
	平成26年度「次世代に語り継ぐ 日 本の家庭料理」 聞き書き調査報 告書	共同	2015年7月	平成26年度「次世代に 語り継ぐ 日本の家庭 料理」 聞き書き調 査報告書一般社団法 人日本調理科学会 「次世代に語り継ぐ 日本の家庭料理」委 員会 福島県の調査 報告 p.36～45	現代についての全国的な聞き書き調査 はほとんど見られないことから全国各 地に残されている特徴ある料理につい て全国47都道府県の日本調理科学会会 員が全国で多くの人々から聞き書き調 査を行った結果を記載した報告書であ る。本人担当部分：福島県の調査報告、 p.36～45（會田久仁子、阿部優子、石 川雅子、石村由美子、中村恵子、横田 和子、津田和加子、福永淑子共同）
本 間 杏 菜	（その他） 1. 学会口頭発表 女子大生における簡易鉄摂取量把 握質問紙を用いた鉄摂取源の分類 について	共著	2015年9月25日	第62回日本栄養改善 学会学術総会（福岡 県福岡市）	簡易的に計れる鉄摂取量評価表を作成 し、学生がどの食品から多く鉄を摂取 しているのかまた、どんな組み合わせ て食事をしているのかを調査し報告し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 学会示説発表 福島県郡山市内医療関係機関を対 象とした管理栄養士に関わる意識 調査	共同	2015年11月	第2回日本栄養改善 学会東北支部学術総 会（宮城県仙台市）	郡山市内医療関係機関を対象にアン ケート調査を実施し、以前行った栄養 士会会員対象のアンケート調査内容と の比較検討を行った。 共同研究者：本間杏菜、関口晋、菊池 節子、先崎和子、根本恵美子、郡司尚 子、善方美千子、中村真智子、横田和 子
石 村 由美子	1. 平成26年度「次世代に伝え継 ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調 査報告書	共著	2015年7月	一般社団法人日本調 理科学会「次世代に 伝え継ぐ 日本の家 庭料理」委員会	地域の特徴ある家庭料理について、平 成24～26年度にかけて全国規模で聞き 書き調査が実施された。担当した福島 県内において、その土地で30年以上居 住する方を調査対象者として、幼少期 から現在に至るまでの暮らしの背景と ともに食生活を振り返っていただいた 内容について記録し、「次世代に伝え継 ぐ日本の家庭料理」としてまとめた報 告書である。 掲載頁 pp36～45 担当部分 pp40～41 いわき市小名浜下神白地区 共著者 阿部優子、石村由美子、會田 久仁子、石川雅子、横田和子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 子どもの食生活実態調査（その4）－小学生の調査より－	共同	2015年8月	日本調理科学会平成27年度大会（ポスターセッション 静岡県立大学）	前大会に続く報告で、これまで「その1」から「その3」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校1、3、5学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。 共同研究者 齋藤理沙、阿部優子、石村由美子
田 辺 真 弓	（著書） 1. 『衣服の百科事典』	共著	2015年4月25日	丸善出版株式会社	日本の明治から戦後までの男女の洋装化、女学生の袴、モガ、子供服、戦中・戦後の衣生活について概説した。
	（その他） 1. 口頭発表「南会津の歌舞伎衣裳について－南郷・伊南の歌舞伎衣裳を中心として－」	単独	2015年10月31日	平成27年度国際服飾学会第2回研究会	貞享頃から昭和初期まで「習い芝居」が盛んだった南会津に現存している歌舞伎衣裳の特色について発表した。
知 野 愛	（学術論文） 1. 「地域子育て支援と生涯学習～郡山市「子ども・子育てニーズ調査」結果を中心に～」	単著	2016年3月	「郡山女子大学紀要」第52集	地域子育て支援の充実のために「郡山市子ども・子育てニーズ調査」を中心に考察した。
	（教材） 1. 『キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初年次教育～実践的就職活動へのサポート』	共著	2016年3月	郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。第10回、13回、14回授業部分執筆担当。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 「戦後農村の生活改善普及事業における家庭経営の考え方－初代生活改善課長山本（大森）松代を中心として－」 2. 『今を生きる「武士の娘」鉞子へのファンレター』	単著	2015年 5 月 2015年 8 月	日本家政学会 第67回（岩手県民情報交流センター）、ポスターセッション発表 講談社、星野知子著	初代生活改善課長山本松代の家庭経営に関する考え方を、論文・雑誌等資料に基づきまとめた。 「杉本鉞子と同時代を生きた女性たち」（pp.86－87）の調査執筆協力。
山 口 猛	(学術論文) 1. ICT教育の課題と対策についての一考察 (教材) 1. キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初年次教育～実践的就職活動へのサポート (その他) 1. 職業ごとに必要な学習指導を支援する教育システムの提案	単著 共著 単独	2016年 3 月 2016年 3 月 2015年 9 月	郡山女子大学 郡山女子大学紀要第52集 郡 山 女 子 大 学 教養・キャリア教育委員会 教育システム情報学会 第40回教育システム情報学会全国大会（平成27年 9 月 1 日）	ICT教育の最新動向と、筆者担当分の教員免許状更新講習のアンケート結果から県内のICT教育の現状を整理した。 共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。第6回・第8回部分執筆担当。 能動的な行動が苦手な学生に対しても、学生と職業を結びつけた効果的な学習支援システムを提案した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
阿 部 優 子	1. 平成26年度「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	共著	2015年 7 月	一般社団法人日本調理科学会「次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理」委員会	地域の特徴ある家庭料理について、平成24～26年度にかけて全国規模で聞き書き調査が実施された。担当した福島県内において、その土地で30年以上居住する方を調査対象者として、幼少期から現在に至るまでの暮らしの背景とともに食生活を振り返っていただいた内容について記録し、「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」としてまとめた報告書である。 掲載頁 pp36－45 担当部分 pp40～41 いわき市小名浜下神白地区 共著者 阿部優子、石村由美子、會田久仁子、石川雅子、横田和子
	2. 子どもの食生活実態調査（その4）－小学生の調査より－	共同	2015年 8 月	日本調理科学会平成27年度大会（ポスターセッション 静岡県立大学）	前大会に続く報告で、これまで「その1」から「その3」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校1、3、5学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。 共同研究者 齋藤理沙、阿部優子、石村由美子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
齋 藤 理 沙	1. 子どもの食生活実態調査（その4）－小学生の調査より－	共著	2015年 8 月	日本調理科学会平成27年度大会（ポスターセッション 静岡県立大学）	全大会に続く報告で、これまで「その1」から「その3」として郡山市内の保育所及び幼稚園に通園する園児の食生活実態調査について報告した。本報告は郡山市内の小学校1、3、5学年に在籍する779名を調査対象者として、食生活の実態について調査した結果を報告した。 共同研究者 齋藤理沙、阿部優子、石村由美子
坂 上 茂	（その他） 1. 家族で話そう・作ろう・楽しもう！未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム福島	食育のため、ふくしまFMが開局20周年を記念して発行したパンフレット。第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆（pp.31－35）。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
會 田 久仁子	(その他) 1. 平成26年度『次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理』聞き書き調査報告書	共著	2015年 7 月	一般社団法人日本調理科学会 次世代に語り継ぐ日本の家庭料理研究委員会	一般社団法人日本調理科学会の特別研究である。地域に残されている特徴ある家庭料理を、聞き書き調査により地域の暮らしの背景とともに記録し、『次世代に語り継ぐ日本の家庭料理 調査報告書』(仮題)としてまとめ、各地域の家庭料理研究の基礎資料、家庭、教育現場での資料、次世代へ伝え継ぐ資料などとして活用するため行った平成26年度分調査の報告書である。福島県担当。 掲載頁 pp.40-45 本人担当部分 pp.44-45南会津町高杖原地域担当 共著者 會田久仁子、石川雅子、阿部優子、石村由美子、横田和子
	2. 家族で話そう・作ろう・楽しもう! 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム福島	食育のため、ふくしまFMが開局20周年を記念して発行したパンフレット。第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。pp.31-35 本人担当部分 pp.31-35 共著者 會田久仁子、石川雅子、金子依里香、小林澄枝、水野時子、茂木恭子、坂上 茂、鈴木奈津子、武地誠一
水 野 時 子	(学術論文) 1. 切干大根製造工程における青首大根とアザキ大根の遊離アミノ酸組成の比較	共著	2015年12月	日本食生活学会誌 第26巻 3 号	アザキ大根の切干大根製造工程における遊離アミノ酸組成を青首大根と比較し検討した。 掲載頁 pp.139-142 共著者: 水野時子、佐々木弘子

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 醸造酢と加工酢中の遊離アミノ酸組成	共著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要 第52集	全国で製造販売されている食酢（醸造酢）と加工酢製品の遊離アミノ酸組成、呈味性、機能性について検討した。 掲載頁 pp.323－330 共著者：水野時子、諸岡信久、影山志保、太田実
	（その他） 1. 家族で話そう・作ろう・楽しもう！未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム福島	食育のため、ふくしまFMが開局20周年を記念して発行したパンフレット。第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」内に掲載された「アスパラ牛肉巻きトマトカレー」のレシピを担当した。 掲載頁 pp.31－35
小 林 澄 枝	（その他） 「学会示説発表」 1. 女子短大生の食生活状況及び心身愁訴との関連性	共著	2015年 9 月24日 ～26日	第62回日本栄養改善学会学術総会（福岡市）	女子短大生の食生活状況と心身愁訴との関連性は、炭水化物抜きダイエットや間食過多、欠食、夜更かしなどの食生活の乱れが大きく関与していると考えられる。
	2. 家族で話そう・作ろう・楽しもう！未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2015	共著	2015年4月	株式会社エフエム福島	食育のため、ふくしまFMが開局20周年を記念して発行したパンフレット。第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。 pp.31－35
金 子 依里香	（学術論文） 1. 女子大学生におけるスロージョギングの身体活動量と形態指標におよぼす影響	共著	2016年 3 月	郡山女子大学研究紀要 第52集	女子大学生 3 名を被験者とし、スロージョギングを行うことによる身体活動量の変化と形態指標に与える影響を調査した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 家族で話そう・作ろう・楽し もう！未来へつなぐふくしま食育 ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム 福 島	食育のため、ふくしまFMが開局20周 年を記念して発行したパンフレット。 第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」 を分担執筆した。pp.31－35
鈴 木 奈津子	(その他) 1. 家族で話そう・作ろう・楽し もう！未来へつなぐふくしま食育 ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム 福 島	食育のため、ふくしまFMが開局20周 年を記念して発行したパンフレット。 第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」 内に掲載された「スプーンで食べる 『豆腐のつるりんサラダ』」のレシピ を担当した。pp.31－35
	2. 給食論実習Ⅱにおける幼稚園 給食提供に関する検討 (ポスター発表)	単著	2015年11月29日	日本給食経営管理学会 第11回日本給食経 営管理学会学術総会 (於：日本女子大学)	校内実習において幼稚園給食を実施し た。学生の実施状況や保護者へのアン ケート調査を行い、給食提供の在り方 を検討し、報告した。
	3. 給食論実習Ⅱにおける幼稚園 給食提供についての一考察（口頭 発表）	単著	2015年12月 2 日	第27回 福島県栄養 改善学会（於：郡山 市労働福祉会館）	幼稚園給食を実施し、保護者のアン ケート調査や学生の評価により、今後 も継続するためにはどのような課題が あるのかを検討した。
石 川 雅 子	(その他) 1. 家族で話そう・作ろう・楽し もう！未来へつなぐふくしま食育 ハンドブック2015	共著	2015年 4 月	株式会社エフエム 福 島	食育のため、ふくしまFMが開局20周 年を記念して発行したパンフレット。 第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」 内に掲載された「かんたん桃シャー ベット」のレシピを担当した。 pp.31－35

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 平成26年度「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」聞き書き調査報告書	共著	2015年7月	一般社団法人日本調理科学会次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理研究委員会	一般社団法人日本調理科学会主催の特別研究である『次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理』として、福島県居住者を対象に家庭料理の調査を行った。本報告書は、その結果を全国の調査結果とともに報告書としてまとめたものである。福島県担当。pp.36-45
茂 木 恭 子	(その他) 1. 家族で話そう・作ろう・楽しもう！未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2015	共著	2015年4月	株式会社エフエム福島	食育のため、ふくしまFMが開局20周年を記念して発行したパンフレット。第4章「親子で楽しむ簡単クッキング」内に掲載された「福島牛肉巻おにぎり」のレシピを担当した。pp.31-35
	2. 女子短大生の食生活状況及び心身愁訴との関連性	共同	2015年9月 福岡	第62回日本栄養改善学会学術総会	女子短大生の食事状況を調査し、心身愁訴と関連があるかを検討した。
三 瓶 令 子	(著書) 1. 「すぐ実践！現場で生かせる幼児合奏」～リズムあそびから発表会まで～	共著	2016年3月	圭文社	保育現場、或いは保育者養成校で使用する「幼児合奏」のテキスト。全9章から構成され、著者が編曲をした独自の楽譜が多く載せてある。特に普段の保育での楽器あそびと共に、発表会用の合奏曲は子どもの実態を踏まえたアレンジとなっている。三瓶監修である。
一 柳 智 子 (上野)	(学術論文) 1. 民俗芸能と「心の復興」 ー東日本大震災後の福島県の民俗芸能の継承現況からー	単著	2016年3月31日 (予定)	お茶の水女子大学 『お茶の水音楽論集』 第18号	「心の復興」事業による被災者ケアのひとつの民俗芸能について改めてその意義と条件を考えた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
早 川 仁	1. 「目覚めよと呼ぶ声が聞こえ」	個人制作	会期 4/15～27	春陽展 国立新美術館	現代という時代や地域環境を共に生きた証として日常的な情景や人物描写から、今、自分が感じ取った世界や内的心情を記録共有していく。
	2. 「ノクターン」				
	3. 「届けられしもの」				
	4. 「操り人形」				
	5. 「ミレー・オフエリアへのオマージュ」	同上	会期 6/19～28	福島県総合美術展 福島県文化センター	同 上
	6. 「庭に埋められたものⅠ」	同上	会期 8/13～16	福島県県南美術展 郡山市文化センター	同 上
	7. 「庭に埋められたものⅡ」	同上	会期 11/8～11/15	現代童画展 東京都美術館	同 上
草 野 葉 子	(その他)	単著	2015年 4 月	東京都美術館 東京都上野	「O・MO・TE」86×142cm 鏡面・デジタルプリント・他 身近素材をモチーフとした鏡面との構成作品。
	1. 第65回モダンアート展				
	2. ふくしま在住作家展	単著	2015年 7 月	アートスペース 羅針盤 東京都京橋	「colorful-II・flowers・2015」 40×83cm OHPフィルム・LED・他 植物をモチーフとした構成作品。
	3. 第30回記念モダンアート 福島支部展	単著	2015年 8 月	AOZアオウゼ 福島市	「あと・アート・Ⅰ」60×144cm OHPフィルム・他 身近素材をモチーフとした構成作品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 草野葉子・よこたこういち 二人展	単著	2015年 9 月	アートスペース 羅針盤 東京都京橋	「あと・アート～風～」50×100cm 「明日へ」65×100cm 「もうひとつの地球（ほし）Ⅰ」 47×66cm 他12点 デジタルプリント・他 植物や身近な環境をモチーフとした構 成作品。
小 林 徹	（著書） 1. つながる・つなげる障害児保 育 かかわりあうクラスづくりの ために	共著	2015年 8 月	保育出版社 （分担） 第 5 章 8 節 124－127頁	編著：七木田敦、松井剛太 執筆者：小林徹ほか34名 「地域の専門機関との連携」について 執筆した。
	2. 現代の障がい児保育	共著	2016年 1 月	学文社 （分担） 第11章 87－95頁	編著：井村圭壯、相澤譲治 執筆者：小林徹ほか15名 「地域の専門機関等との連携および個 別の支援計画の作成」について執筆し た。
	（学術論文） 1. みんなで取り組む五・七・五 の授業	単著	2016年 1 月	明治図書 特別支援教育の実践 情報No.169	特集「達成感ある授業をつくる！「学 習評価」活用ワザ」として、中学校特 別支援学級の授業実践を報告した。
	2. 小学校における保護者の思い に寄り添う支援	共著	2016年 1 月	学研プラス 月刊実践障害児教育 2月号	執筆者：菅英勝、小林徹 特集「いま見直すべき保護者との信頼 関係づくり」として、小学校特別支援 学級の実践を共同で報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) (学会発表) 1. 就学前の特別支援教育を進めるために －インクルージョン保育の構築－	共同	2015年 5 月	日本保育学会 第68回大会 (椋山女学園大学)	(企画・司会・話題提供者) 小川英彦・田中謙・前嶋元 (指定討論) 小林徹 新しい形である全包括保育について議論した。
	2. 障がい児保育の専門性に関する検討 2 －指導する順序について－	単独	2015年 9 月	全国保育士養成 協議会 第54回研究大会 (ロイトン札幌)	保育者への質問紙調査の結果から市販される「障害児保育」のテキストの指導内容の順序について検討した。
	3. 自閉症児から学んできたこと －中学校特別支援学級の経験から－	共同	2015年10月	日本特別ニーズ 教育学会 第21回研究大会 (京都教育大学)	シンポジウム「教育実践と自閉症」(司会) 奥住秀之(話題提供) 小林徹、早川透(指定討論) 新井英靖
山 上 裕 子	(学術論文) 1. 保育者養成における「卒業研究」の意義 －探究の理論を基盤にして－	単著	2016年 3 月	『郡山女子大学紀要』 第52集	探究の理論を基盤にし、学生の視点から、保育者養成における「卒業研究」の意義を再考した研究。
	(その他) 1. 授業科目としての教職キャリア支援の取組	単著	2015年 7 月	全国私立大学教職課程研究連絡協議会編 『私立大学の特色ある教職課程事例集Ⅱ』	教職課程において、授業として教職のキャリア支援の取組をしている事例を紹介したもの。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
鈴木 祥子	(著書) 1. すぐ実践・現場で活かせる幼 児合奏 －リズム遊びから発表会まで－	共著	2016年 3 月	圭文社	第2章『実習生の音楽活動』を担当。 「・教育実習において楽器あそびの指 導を効果的に行うためには、・発表会 をするために子どものモチベーション を上げるには、・実習生としてのわか わり方」を項目に挙げ、教育・保育実 習において実習生が音楽活動の表現的 実践について執筆した。
折 笠 国 康	(学術論文) 1. 松崎学・折笠国康・新館啓一 学級集団状態と生徒の学級適応と の関連Ⅲ －学級機能因子がQ-U因子に及 ぼす影響－	共著	2015年 8 月	日本教育心理学会 日本教育心理学会第 57回総会発表論文集	前研究Ⅰ(松崎・折笠・新館, 2015)に おいて、中学校での学級機能因子は、 「生徒の主体性を尊重した教師のかか わり(以下、教師のかかわりと略す る)」・「集団凝集性」・「有能感・ 貢献感」および「相互尊重の問題解決」 の4因子から構成されることがわかっ た。小学校における3因子構造(松崎, 2006, 2013)とは異なり、上記第3因子 と第4因子が構成されたことを意味す る。そして、小学校において、それら の学級機能因子は、その集団で育つ児 童の個人特性に影響を与えていること もわかっている(松崎, 2007, 2013)。 さらに、STEP受講群と非受講群の間 で、その影響が異なることもわかっ ている。 本研究では、中学校での学級機能因子 が、Q-U因子にどのような影響を与 えているのか、とりあえず重回帰分析で 検討した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 折笠国康・松崎学・新館啓一 学級集団状態と生徒の学級適応と の関連Ⅳ －学級機能因子が精神的健康・本 来感・自尊感情に及ぼす影響－	共著	2015年 8 月	日本教育心理学会 日本教育心理学会第 57回総会発表論文集	小学校では、学級機能因子が、その集 団で育つ児童の個人特性に影響を与え ていることもわかっている（松崎、 2007, 2013）。特に自尊感情の一側面で ある、“Good enough”とほぼ同義的 であると考えられる「本来感（伊藤・小 玉, 2005）」には、「教師のかかわり」 因子が直接効果よりはむしろ間接効果 のかたちで、強い影響を与えているこ とがわかっている（松崎, 2013）。本研 究においては、学級機能因子が、中学 校における学級集団で育つ生徒の精神 的健康・本来感および自尊感情に与え る影響について検討した。
	3. 折笠国康 幼稚園教諭のビリーフが本来感に 与える影響	単著	2016年 3 月	郡山女子大学 郡山女子大学紀要 第52集	本研究の目的は、現役の幼稚園教諭の 持つ教師特有のビリーフの因子構造を 確認し、それぞれの因子が幼稚園教諭 の精神的件健康に与える影響を探索的 に検証することであった。幼稚園教諭 115名を対象とした探索的因子分析の結 果、幼稚園教諭特有のビリーフは、規 律重視、社会的価値、上下意識、きま り重視の 4 因子が抽出された。また、 強制投入法による重回帰分析の結果、 規律重視、上下意識、きまり重視のビ リーフは、本来感に影響を与えている ことは確認されなかったが、社会的価 値は本来感に正の影響を及ぼすことが 明らかになった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 折笠国康 幼稚園教諭志望の女子学生特有の ビリーフが本来感に与える影響	単著	2016年 3 月	郡山女子大学 郡山女子大学紀要 第52集	本研究の目的は、幼稚園教諭を志望する女子大学生の持つ幼稚園教諭を志望する女子大学生特有のビリーフの因子構造を確認し、それぞれの因子が精神的健康に与える影響を探索的に検証することであった。幼稚園教諭や保育所勤務を希望する180名を対象とした探索的因子分析の結果、幼稚園教諭特有のビリーフは、社会的価値、いい子願望、管理意識、母親代行の4因子が抽出された。重回帰分析の結果、社会的価値、いい子願望、管理意識のビリーフは、本来感に影響を与えていることは確認されなかったが、母親代行は本来感に正の影響を及ぼすことが明らかになった。
永 瀬 悦 子	(学術論文) 1. 福島県の地域母子保健の変遷 (1)～明治時代から昭和時代(第二次世界大戦時)までの助産師実践活動に着目して～	単著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第52集	明治時代の富国強兵政策下、生活物資も困窮を極める状況の中における母子保健をまとめた。pp.243-258
	2. 福島県の地域母子保健を担う 開業助産師の活動展開過程～東日本大震災以前の2003年から2004年 を中心に～	単著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第52集	地域で開業している開業助産師の実践活動の展開過程から東日本大震災以前の福島県の地域母子保健の状況を社会との関連でまとめた。親育て・子育て・家族支援の内容にふれている。pp.227-242

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
ポール・バーナミィ	1. Effective Team Teaching Education Strategies	Paul Edward Vonnahme	June 2014 to present	Continuing research	This is a discussion with examples of successful team teaching. Is team teaching worth the effort of coordinating the time of two teachers ? In talking with teachers who have team teaching experience a survey exposes positives and negatives of team teaching.
	2. English Speaking as a Vibrant Skill	Paul Edward Vonnahme	June 2013 to present	Continuing research	This paper argues the value of focused English listening from the viewpoint of utilizing common tools combined with the practical goal of oral presentation. Study material and sources for study today are in abundance, but without real goals or practical outcome students remain static. We discuss the effectiveness of focused English listening with a viewpoint of having the students develop their own proficient speaking skills which will enable them to exhibit a more impactful English presentation.
伊 藤 哲 章	(著書) 1. 「生活事例からはじまる保育 内容環境」 第9章「小学校との連携」	共著	2016年3月	青踏社 近藤幹生監修	幼稚園教諭・保育士を希望する学生向けのテキストとして、幼稚園・保育所等と小学校との連携について生活科を中心に執筆した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 「生活事例からはじまる保育 内容環境」 第10章「ESD」	共著	2016年 3 月	青踏社 近藤幹生監修	幼稚園教諭・保育士を希望する学生向 けのテキストとして、ESDの概要と ESDにつながる幼児期の取り組みにつ いて執筆した。
	3. 「日本生物教育会記念誌ふく しまのいきもの」動物編「プラナ リアの再生」	共著	2015年 7 月	日本生物教育会福島 支部	プラナリアの再生について、断頭、飼 育密度、メラトニン濃度等が横分裂に 与える影響について執筆した。
	(学術論文) 1. 「アメリカの高校生物教育に おけるバイオテクノロジーに関す る教育内容の特質」	単著	2016年	『教材学研究』（日本 教材学会）、第27巻、 印刷中	アメリカの高校生物教育におけるバイ オテクノロジーに関する教育内容につ いて、SAT及びAPEXamを分析し、特 質をあげた。
	2. 「幼稚園・保育所における動 物飼育に関する研究」	共著	2016年 3 月	郡山女子大学『紀要』 第52集	幼稚園・保育所における動物飼育につ いて、飼育に適している動物名、適応 年齢、配慮事項等について質問紙調査 をもとにまとめた。
	(学会発表) 1. 「高校生物における微細藻類 ボトリオコックスを用いた実験」	共著	2015年 8 月	日 本 科 学 教 育 学 会 (山形大学)	微細藻類ボトリオコックスを高校生物 教材として用いるための有効な培養方 法およびオイル確認方法について発表 した。
	2. 「幼稚園・保育所における動 物飼育に関する研究」	共著	2015年11月	日本理科教育学会東 北支部研究大会（福 島大学）	幼稚園・保育所における動物飼育に関 して、飼育する際の配慮事項等につ いて質問紙調査をもとに発表した。
	3. 「幼稚園・保育園における動 物飼育状況と飼育体験効果に関す る研究」	単著	2015年11月	日本乳幼児教育学会 (昭和女子大学)	幼稚園・保育園における動物飼育に関 して、飼育に適している動物名、適応 年齢等について質問紙調査をもとに発 表した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
古 川 督	(著書) 『保育実践と社会的養護』	共著	2016年 2 月	勁草書房	第4章「児童の権利擁護と社会的養護」執筆。児童の権利に関する条約の理念及び児童の権利擁護の具体的取り組みを記した。
柴 田 卓	(学術論文) 1. スウェーデン・デンマークの 保育環境に関する一考察	単著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要第 52集	スウェーデンの保育園とデンマークの森のようちえんの視察および保育士へのインタビューから、日本とは異なる価値観や保育実践、保育環境等について考察を行った。
	(口頭発表) 1. デンマーク・フィンランドの 保育者養成に関する研究 (3) －保育者の語りから見えてきた保 育における対話の諸相－	共同	2015年 5 月	日本保育学会 第68回 大会 発表要旨集	デンマークの森のようちえんとフィンランドの保育園にて保育者へのインタビュー調査を実施し、保育を行う上で大切にしていること、保育士に必要とされる能力等について考察を行った。 共同発表者名：柴田千賀子 柴田卓
	2. スウェーデンとフィンランド の野外保育に関する一考察	単著	2015年 6 月	日本野外教育学会18 回大会 研究発表抄 録集99頁	スウェーデン、フィンランドの保育園を視察し、特に野外活動やその理論、環境に焦点を当てて考察を行った。園庭の有効活用や保育者研修の様子など、日本でも参考にできそうな点をまとめた。
小 林 みゆき	(学術論文) 1. 「幼稚園・保育所における動 物飼育に関する研究」	共著	2016年 3 月	郡山女子大学『紀要』 第52集	幼稚園・保育所における動物飼育について、飼育に適している動物名、適応年齢、配慮事項等について質問紙調査をもとにまとめた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学会発表) 1. 「幼稚園・保育所における動物飼育に関する研究	共著	2015年11月	日本理科教育学会東北支部研究大会（福島大学）	幼稚園・保育所における動物飼育に関して、飼育する際の配慮事項等について質問紙調査をもとに発表した。
久 家 三 夫	(作品発表) 1. 第92回春陽展	単著	2015年 4 月	国立新美術館・東京一般社団法人春陽会	画題「この火を諫めよ」F130号・キャンバスにアクリル、金箔・フクシマへの鎮魂画。
	2. 第69回福島県総合美術展	単著	2015年 6 月	福島県文化センター・福島市	画題「アイデアの三角形」F8号・キャンバスにアクリル、金箔
	3. 第10回会津美里町総合美術展	単著	2015年 9 月	ふれあいセンター郷の風・会津美里町	同 上
	4. 第83回福島県美術協会展	単著	2015年11月	福島県文化センター・福島市	画題「この火を諫めよ」F130号・キャンバスにアクリル、金箔・フクシマへの鎮魂画。
浅 野 章	1. 第89回国展	単著	2015年 5 月	国立新美術館 東京都港区六本木 その後、愛知県美術館・大阪市立美術館・福岡市立美術館を巡回	「人の心の中にある原初的なもの。そして今の自分の記録としての“風景”。」というテーマを基に油彩画で表現した大型作品「望郷」(227×182cm)、1点を発表。
	2. 国画13の視線展	単著	2015年 5 月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「懐かしい風景」を含め2点を発表。
	3. 第69回福島県総合美術展	単著	2015年 6 月	福島県文化センター 福島市	同上テーマの作品「どこかで見た風景」、1点を発表。
	4. 遊A会展	単著	2015年 6 月	ギャラリー柏屋 郡山市	同上テーマの作品「ひかり女」を含め、2点を発表。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 海の日芸術祭	単著	2015年7月	アートプラン いわき市	同上テーマの作品「遠くへ…」を含め、 8点を発表。
	6. オーロ遊び展	単著	2015年8月	アートスペース泉 いわき市	同上テーマの作品「青い髪の女」、1点 を発表。
	7. 浅野アキラ絵画展	単著	2015年10月	アートギャラリー三遊 会津若松市	同上テーマの作品「包み込むもの」を 含め、23点を発表。
	8. 第59回郡山市総合美術展	単著	2015年11月	郡山市文化センター 郡山市	同上テーマの作品「新天地」、1点を発 表。
	9. 東日本大震災支援作品展	単著	2015年12月	ギャラリー柏屋 郡山市	同上テーマの作品「若い女・3」を含 め、2点を発表。
	10. 上海城美術博覧会	単著	2015年12月	豪貨精洗酒店ギャラリー 中華人民共和国上海市	同上テーマの作品「若い女・ブロンド」 を含め、4点を発表。
小 松 太 志	1. 郡山女子大学シンボルマーク デザイン	単著	2015年4月		郡山女子大学のシンボルマークのデザ イン。
	2. 第65回モダンアート展	単著	2015年4月	東京都美術館／東京 都台東区	美術団体モダンアート協会主催の展覧 会。作品：「STRATA－樹」
	3. 第30回モダンアート福島支部 展	単著	2015年8月	A・O・Z／福島県福 島市	美術団体モダンアート協会福島支部主 催の展覧会。作品：「STRATA－樹」 「STRATA－塊」
	4. アジア基礎造形連合学会2015 成田大会 作品展覧会	単著	2015年8月	成田市芸術文化セン ター／千葉県成田市	アジア基礎造形連合学会の作品展覧会。 作品：「STRATA－蒼」

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. -あだたらの視点 2015- 福島青年美術の展望展	単著	2015年11月	あだたら高原美術館 青-ao- / 福島県二本 松市	あだたら高原美術館 青 主催の展覧会。 作品: 「poly-I」「poly-II」
松 田 理 香	1. 2015現代童画会春季展	単著	2015年4月6日 ～12日	会 場: 銀座アート ホール (東京都中央 区銀座)	主催: 現代童画会 作品名: 「天体観測」 サイズ: S8号 主な材料: アクリル
	2. 2015現代童画会選抜展	単著	2015年8月24日 ～30日	会 場: 銀座アート ホール (東京都中央 区銀座)	主催: 現代童画会 作品名: 「満天。」 サイズ: S20号 主な材料: アクリル
	3. 現代童画会2015関西展	単著	2015年9月2日 ～6日	会 場: 原田の森ギャ ラリー東館 (兵庫県 神戸市)	主催: 現代童画会 作品名: 「満天。」 サイズ: S20号 主な材料: アクリル
	4. 第30回現代童画会香川展	単著	2015年10月10日 ～11月1日	会場: 坂出美術館 (香川県坂出市)	主催: 現代童画会 作品名: 「満天。」 サイズ: S20号 主な材料: アクリル
	5. 第41回現代童画展	単著	2015年11月8日 ～15日	会場: 東京都美術館 (東京都)	主催: 現代童画会 作品名: 「水神鳴」 サイズ: S80号 主な材料: アクリル
黒 沼 令	1. 第89回国展彫刻部	単著	2015年5月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。会員として「潜心」 (150×100×130cm、桂) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 第69回福島県総合美術展	単著	2015年 6 月	福島県文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「潜心」 (150×100×130cm、桂) 出品。 福島県立美術館長賞受賞。
	3. 二日展	単著	2015年 8 月	福島テルサ 福島県福島市	福島県の教員を中心としたグループ展。 「物思いⅠ」(65×40×20cm桂)「物思 いⅡ」(70×40×25cm桂) 出品。
	4. 第21回不来方高校 卒業生美術展2015	単著	2015年 8 月	岩手県民情報交流 センター ギャラリーアイーナ	共同展示会。「すます」(170×70× 45cm檜)「うれう」(160×60×45cm 檜) 出品。
	5. 脈 FUKUSHIMA展	単著	2015年 8 月	福島県文化センター 福島県福島市	共同展示会。「潜心」(150×100× 130cm、桂)「物思いⅠ」(65×40× 20cm桂)「物思いⅡ」(70×40×25cm 桂) 他 2 点出品。
	6. ISHIGAMI ARTWALK part5 石神の丘アートウォーク2015	単著	2015年10月	岩手町立石神の丘美 術館 岩手県岩手町	共同展示会。「嘆息」(210×80×60cm 樺、桂)「潜心」(150×100×130cm、 桂) 他 3 点出品。
	7. 第51回福島県彫刻会展	単著	2015年10月	福島県文化センター 福島県福島市	共同展示会。「物思いⅡ」(70×40× 25cm桂) 他 2 点出品。
	8. 第38回国展彫刻部秋季展	単著	2015年10月	東京都立美術館 東京都台東区	共同展示会。国画会彫刻部の会員、準 会員、受賞作家による展覧会。「物思い Ⅱ」(70×40×25cm桂) 出品。
	9. 第68回岩手芸術祭美術展	単著	2015年10月	岩手県県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「うれう」(160× 60×45cm檜) 出品。 芸術祭賞受賞。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	10. 福島青年美術の展望展2015	単著	2015年11月	あだたら 高原美術館 青-ao- 福島県二本松市	共同展示会。 福島県内で活動する40歳以下の美術作家が作品を展示した。「嘆息」(210×80×60cm 樺、桂) 出品。
	11. 第58回郡山市総合美術展	単著	2015年12月	郡山市文化センター 福島県郡山市	郡山市主催の公募展。 審査員として「物思いⅠ」(65×40×20cm 桂) 出品。
	12. 第1回東日本大震災支援作品展～交流の環～	単著	2015年12月	ギャラリーかしわや 福島県郡山市	共同展示会。「物思いⅠ」(65×40×20cm 桂)「物思いⅡ」(70×40×25cm 桂) 出品。
	13. アートフェスタいわて2015	単著	2016年2月	岩手県立美術館 岩手県盛岡市	共同展示会。「うれう」(160×60×45cm 檜) 出品。
草 野 順 子	1. 第89回国展	単著	2015年4月29日 ～5月11日	東京六本木国立新美術館 東京都港区六本木	団体公募展。 『残夜』F130号 他2点。
	2. 第69回福島県総合美術展覧会	単著	2015年6月19日 ～28日	福島県文化センター 福島県福島市	団体公募展。 『夏暁』F50号。
	3. 二日展	単著	2015年8月15日、 16日	福島テレサ 福島県福島市	団体公募展。 『待つわたし』『想い』 F8号 合計2点。
	4. 第66回福島県南美術展	単著	2015年8月13日 ～16日	郡山市民文化センター 福島県郡山市	団体公募展。 『夢現』F100号。
	5. 第59回郡山市総合美術展(前期)	単著	2015年11月1日 ～7日	郡山市民文化センター 福島県郡山市	団体公募展。 『たゆたう』F100号。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	6. あだたらの視点2015福島青年 美術展の展望展（前期）	単著	2015年11月6日 ～8日、13日～ 15日	あだたら高原美術館 青-ao- 福島県二本松市	グループ展。 『夢現』F100号。
岡 部 富士夫	（その他） 1. 作品発表 歌曲 さくら 片戀 眼 こぎん刺し イルカ 2. 指揮 ・ワーグナーその他 ・うたその他 ・ラインベルガー ・うたその他 ・みどりの歌その他		2015年11月14日 2015年4月19日 2015年6月21日 2015年7月5日 2015年9月27日 2015年10月11日 2015年10月25日	桐生市民会館 武かほるリサイタル 郡山市民会館 スプリングコンサート 郡山吹奏楽団 山形テルサ お母さん合唱東北大会 福島市音楽堂 合唱団「風」 秋田県民会館 福島市音楽堂 郡山女声合唱団 福島市音楽堂 古閑裕而音楽祭	

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
深 谷 登喜子	(その他)	共著	2015年 5 月 1 日	奏楽堂日本歌曲 コンクール	台東区民センター
	1. 演奏会				
	2. コンクール	共著	2015年 6 月21日	全日本おかあさん合唱 東北大会	山形市民会館
		共著	2015年 8 月30日	全日本合唱コンクール 福島県大会	福島県文化センター
		共著	2015年 9 月27日	全日本合唱コンクール 東北大会	秋田県民会館
		共著	2015年10月24日	郡山女子大学定期 演奏会	郡山女子大学建学記念講堂
		共著	2016年 3 月 1 日	ヴァイオリンとピアノ の集い	猫魔ホテル
		共著	2016年 3 月 6 日	会津スプリング コンサート	会津若松市文化センターホール
横 溝 聡 子	(学術論文)	単	2016年 3 月	「郡山女子大学研究 紀要」第52集	ピアノ教育の歴史的流れを振り返ると ともに、今後のピアノ教育の在り方を 模索する為、現在の状況を調査した。
	1. 郡山におけるピアノ教育につ いて (査読付)				
	(その他)	単	2015年 5 月10日	郡山市民文化センター ／福島県	ピアノソロのリサイタル。ブラーム ス：ピアノソナタ Op. 1 等、計 4 曲を 演奏。
	(演奏)				
	1. 横溝聡子ピアノリサイタル				

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 川田修一・藤原功次郎ミニコンサート	共	2015年 8 月24日	須賀川市立第三中学校 ／福島県	プライヤー：「スコットランドの釣鐘草」による主題と変奏、他4曲を演奏。ピアノを担当。
	3. フルートで奏でるバロック音楽	共	2015年11月12日	東京オペラシティ 近江楽堂／東京都	ボワモルティエ：ソナタ 第2番、 M. マレ：組曲 ハ長調、他2曲。 チェンバロを担当。
	4. 佐野悦郎リサイタル&フルート室内楽	共	2015年12月 9 日	東京オペラシティ リサイタルホール ／東京都	マクマイケル：フルート4重奏とピアノのための「アカデミー オブ ダンス」、 他1曲を演奏。ピアノを担当。
磯 部 哲 夫	(著書) 1. キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初 年次教育～実践的就職活動へのサ ポート	共著	2016年 3 月	(有) 和田出版	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授 業内容を検討し、教材集を作成した。 郡山女子大学 教養・キャリア教育委 員会 共著者：泉秀生、磯部哲夫、桑野聡、 知野愛、堀琴美、山口猛、渡邊勝英
	(学術論文) 1. 修辞学的音楽解釈を取り入れ た小学校・中学校における歌唱授 業の研究	単著	2016年 3 月	郡山女子大学紀要 第52集	フィグーラを基にした歌唱指導を実践 することによる、児童と生徒の歌唱表 現の効果を検証した。
	(その他) 「学会発表」 1. 歌唱共通教材の修辞学的音楽 解釈による教育実践報告～小・中 学校における教育現場での授業実 践を通して～	単著	2015年10月29日	平成27年度全日本音 楽教育研究会全国大 会 静岡大会 (於：静岡市民文化 会館)	フィグーラを基にした歌唱指導を実践 することで、児童、生徒の歌唱表現が どのように変化したかを検証した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	「演奏発表」 1. 経団連・東経連共催による 「東北地方経済懇談会」レセプションコンサート	共著	2015年7月9日	ホテルハマツ（福島 県郡山市）	日本歌曲による重唱。ソプラノ：渡部 史子、テノール：磯部哲夫、ピアノ： 志田智子
	2. 磯部哲夫テノールリサイタル 「ドイツ歌曲のタベ」	単著	2015年12月18日	會津稽古堂（福島県 会津若松市）	シューベルト歌曲、シューマン「詩人 の恋」（全曲）、計22曲のドイツ歌曲に よるテノールリサイタル。 ピアノ：江川龍二
南 川 肇	東京クラリネットフィルハーモ ニー サマーキャンプ演奏会	共著	2015年3月13 ～15日	蔵王アストリアホテル	バルトーク ルーマニア民族舞曲 他
	TCP軽井沢コンサート	共著	2015年9月12日	軽井沢大賀ホール	ビゼー カルメン組曲 他
	第46回郡山女子大学短期大学部 音楽科定期演奏会	単著	2015年10月24日	郡山女子大学建学記 念講堂大ホール	カユザック アルルカン 他
	第13回チャペルコンサート	共著	2015年10月30日	郡山市公会堂	多田栄一 変化するB♭ 他
	TCP第34回定期演奏会	共著	2016年3月9日	東京文化会館小ホール	ベートーヴェン 交響曲第7番 クラ リネットクワイアー版 他
野 沢 謙 治	（著書） 1. 住の民俗事典	共著	2016年3月	柊風舎	オシラ様信仰（pp19～35）、城下町と 信仰（pp65～961）を執筆。
	（学術論文） 1. 田植え歌にみる猿と鹿の代掻 き（査読付）	単著	2016年3月	東北民俗第50輯	郡山市の田植え歌にみる猿が鹿の鼻ど りをして代掻きすることは全国の田植 え歌に見ることはできない、そこに稲 作以前の文化層を想定する。pp.67～74

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 書評 赤坂憲雄他著『会津物語』(査読付)	単著	2016年 3 月	福島の民俗第44号	会津地方の不思議な物語(世間話)を民俗文化との関係、またその形成過程との視点から批評した。pp.71～74
齋 藤 美保子	(学術論文) 1. 莊司福作《霧林》に関する一考察	単著	2016年 3 月31日	郡山女子大学紀要 第52集	女流画家、莊司福の画業を辿ると共に、その作品《霧林》を綴帳にした関口富左先生との美学的交流を明らかにした。
	2. 上野章子の揮毫句と虚子との洋行	単著	2015年11月	国文学年次別論文集 平成二十三年版 近代学術文献刊行会	郡山女子大学紀要 第47集に掲載した同名論文の転載収録。
	3. 成島柳北から浅井忠へ －滞欧詩の系譜	単著	2016年 2 月28日	會報 創刊号 日本漢詩文學會	成島柳北の『航西日乗』には洋行時の七言絶句八十首が収められている。浅井忠は洋画の傍ら成島に漢学を学んだ経歴があり、滞欧中の作詩二首には成島からの影響が読み取れる。
	(その他) (口頭発表) 1. 浅井忠における洋行の美学 －洋画と詩歌－	単著	2015年 9 月19日	民族藝術学会 東京研究会(お茶の水女子大学)	浅井忠が1901年パリ近郊グレー村で描いた日本洋画史上の名作と余技の漢詩を検討し、洋行中に獲得した浅井の美学を明らかにした。
何 燕 生 (福島 寅太郎)	1. 現代中国における仏教の社会 参加	単著	2015年 3 月	『宗教研究』第88巻 別冊、日本宗教学会、 286－287頁。	日本宗教学会第73回学術大会(同志社大学)で口頭発表した原稿の要旨。「生活禪」という実践的な思想運動および活動について紹介した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. On the Dogen's Understanding of Hongzhi Zhengjue	単著	2015年10月	<i>Seeking Dharma, Spreading Dharma : Cross-Cultural Interactions of Chinese Buddhism</i> , 台湾・法鼓文化出版, 297-332頁	International Conference "Cross-Cultural Interactions of Chinese Buddhism" で口頭発表した論文の書き下ろし。内容は平成25年度の業績目録で紹介したので、そちらに譲る。
	3. 試論当代日本大学生対「生活禅」的理解－一份大学生的課間卷調査報告	単著	2015年11月	<i>The International Conference on Development of Humanistic Buddhism In East Asia and South East Asia</i> , 香港中文大学人間仏教研究センター主催、論文集198-317頁	本学の必修科目「宗教学」で用いた教科書の内容についての継続のアンケート調査を分析したもの。学会のテーマに沿う内容だったため、発表した。
	4. Humanistic Pure Land in the Mountains : A Religious Analysis Of the Features of the Mountain Cult in Northeastern Japan	単著	2016年1月	<i>The International Conference on "Humanistic Pure land and Amitabha Pujae land"</i> , 香港中文大学中華仏教文化院主催、論文集（下巻）100-106頁	日本の東北地方に見られる山岳信仰を事例として、文献とフィールド調査の両方に基づき「山中浄土」という考えを宗教学の観点から考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	5. 現代化叙事中の臨済以及『臨 済録』：一種方法論的省察	単著	2016年 1 月	<i>International Conference of the Mari-Time navigation and the propagation of Buddhism</i> , 広州・中山大 学哲学系主催、論文 集23－35頁	臨済宗の開祖である臨済義玄およびそ の語録『臨済録』に関する100年来の研 究について、とくにその方法論の問題 を検討した。
	(その他) 口頭発表および研究企画、講演 1. 在日本尋找芙蓉道楷禪師的袈 裟 (口頭発表)	単著	2015年 9 月20日	大洪山第一回禪宗文 化研討会。中国湖北 省随州市 http://www.dhs.gov. cn/html/2015/ jqdt_0921/14141.html	北宋時代を生きていた中国曹洞宗の中 興の祖とされる芙蓉道楷の袈裟が日本 に伝えられているという伝承について 考察し、その成果の一部を発表した。
	2. 現代中国における「少林寺」 現象－禪の脱文脈化をめぐる－ (口頭発表)	単著	2015年 9 月 5 日	日本宗教学会 第74回 学術大会、創価大学	本人が企画したパネル「観る・坐る・ 祈る－『身体』をめぐる思想と宗教文 化－」で発表したもの。近年のメデイ ア報道と学会の反応を中心に「少林寺」 現象の背景とその特徴を探った。
	3. 「観る・坐る・祈る－『身体』 をめぐる思想と宗教文化」(パネ ル企画)	共同	2015年 9 月 5 日	日本宗教学会 第74回 学術大会、創価大学	中国の武漢大学哲学院から二人の研究 者を招聘し、日本の研究者（東北大学） 二人、合わせて五人から構成されるパ ネルを企画し、共通のテーマをめぐり、 それぞれの分野から研究成果を発表し た。使用言語は英語、中国語と日本語。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	4. 動画与宗教－宮崎駿の想像世界（講演）	単著	2015年12月30日	武漢大学建校110周年 高端学術講座、武漢 大学哲学院主催 http://philosophy.whu.edu.cn/zxxz/xueyefuwu/jiaowuxinxi/2016-01-02/683.html	宮崎駿のアニメにおける宗教的要素を 話題にした講演会。数百人の学生が集 まり、日本のサブカルチャーに対する 人気の高いことが窺えた講演だった。
	5. 近代的な物語における臨済と 『臨済録』（口頭発表）	単著	2016年 1 月31日	『臨済録』合同研究 会発表会、花園大学 禅文化研究所	常盤大定、胡適および柳田聖山の三人 における臨済および『臨済録』の研究 を取り上げ、それぞれの特徴を検討し た。
	6. 「漢伝仏教の形成と展開」国 際学会（コメンテーター）	単著	2015年 7 月 5 日	鶴見大学仏教文化研 究所	四人の研究発表に対して中国語と日本 語の両方でコメントし、質疑応答時間 の司会をつとめた。
	7. ヨーロッパ人から見た道元禪 師の『正法眼蔵』（コメントおよ び対論）	単著	2015年 7 月25日	東洋大学東洋学研究 所	第一部では、ヨーロッパにおける道元 研究の第一人者で、イタリアのカ・ フォカスリ大学（ヴェネチア）教授の アルド・トリニー氏の講演に対してコ メントし、第二部では、「『正法眼蔵』 の思想と翻訳をめぐる対論」とのテー マで意見交換を行った。
桑 野 聡	【論文】「大学・短大の学芸員養 成課程に関する一考察－郡山女子 大学短期大学部文化学科・学芸員 課程「博物館資料論」の事例－」		2016年 3 月	『郡山女子大学紀要』 第52集	2012年 4 月より大学・短大の学芸員養 成カリキュラムが改訂されたことを受 けて、本学の諸問題を担当する「博物 館資料論」の授業を手掛かりに考察し た。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	【ノート】「博物館実習の現状と課題－平成27年度全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加して－」		2016年3月	『文化学科資格課程報告集』第18集	2015年6月26日(金)・27日(土)の二日間にわたり、江戸川大学で開催された全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加した際のフォーラム「博物館実習の現状と課題」について報告した。
	【ノート】郡山市図書館協議会「図書館視察研修」から－千代田区立日比谷図書文化館・国会図書館国際子ども図書館－		2016年3月	『文化学科資格課程報告集』第18集	2015年7月30日(木)に実施された視察研修で訪れた千代田区立日比谷図書文化館と上野の国際子ども図書館の二施設を例に、多様化する公共図書館の未来像を考察した。
	【教材】『キャリアデザインⅠ・Ⅱ－初年次教育～実践的就職活動へのサポート』	共著	2016年3月	郡山女子大学 教養・キャリア教育委員会	共通基礎科目キャリアデザインⅠの授業内容を検討し、教材集を作成した。第1・2・7回授業部分執筆担当、および全体編集を担当。
會 田 容 弘	(学術論文) 1. 「縄文土器作りの石－里浜貝塚台囲地点とHSO地点出土資料を用いて－」	単著	2015年5月	『宮城考古』第17号 pp.73－80	里浜貝塚出土の小磨石を土器製作の動作連鎖概念に基づき、縄文土器のミガキ工具であることを論証した。
	2. 「日本後期旧石器の多様な石刃剥離技術の基礎的解明－中間報告－」	単著	2015年10月	『山形考古』第45号 pp.20－33	動作連鎖概念に基づいた石刃製作の石器技術学研究について、科学研究費を用いた調査成果、研究会の成果を報告した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	3. 「動作連鎖概念に基づいた石器技術研究法－石器研究の曲がり角：石器型式学から石器技術学へ－」	単著	2015年11月	岩宿フォーラム2015『石器製作技術－製作実験と考古学－』予稿集 pp.52－59	動作連鎖概念に基づいた石器研究の方法について、従来の型式学的研究と異なる目的のもとで行われる研究であることを学史に基づき論じた。そして、その研究には石器製作実験研究が不可欠であることを主張した。
	4. 「笹山原遺跡No.16第15次発掘調査」	単著	2015年12月	『第29回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』 pp. 8－15	2015年に実施した笹山原遺跡No.16の旧石器時代の調査成果を報告した。
	5. 「2015（平成27）年度文化学科考古学発掘実習報告－笹山原遺跡No.16第15次発掘調査－」	単著	2016年3月	『文化学科（資格課程）報告集』第18集	2015年に実施した笹山原遺跡No.16の実習成果と学術的成果について報告した。
	6. 博物館実習実質化の試み－福島県立博物館冬の特集展『発掘ガール』－	仲田佐和子・桑野聡と共著	2016年3月	『文化学科（資格課程）報告集』第18集	2012年から博物館実習において行っている実践力ある学芸員課程の学生の目的と成果と問題点につて論じた。
	その他 口頭発表 「土師器の胎土－笹山原遺跡No.16の資料分析をもとにして－」	単独	2015年10月4日	2015年東北史学会大会（於：東北大学）	笹山原遺跡No.16の調査で廃棄土坑から検出した砂が土師器製作の粘土の混和剤であることを土師器製作動作連鎖概念に基づいて、論証した。
	企画展示 1. 福島県立博物館冬の特集展『発掘ガール－郡山女子大学短期大学部笹山原遺跡発掘調査14年の軌跡－』	福島県立博物館と共同	2015年2月7日から3月22日	福島県立博物館企画展示室	博物館実習で行っている展示実習成果と考古学実習で行っている笹山原遺跡No.16の発掘成果について持ち込み企画として実施した。入場者は期間中約3,000人にのぼった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 福島県文化財センター白河館 コラボ展『まほろん&発掘ガール 猪苗代湖周辺の考古学』	福島県文化 財センター 白河館と共 同	2016年1月9日 から2月14日	福島県文化財センター 白河館企画展示室	博物館実習の展示実習成果とまほろん 収蔵資料と笹山原遺跡No.16の出土資料 を展示し、猪苗代湖畔の考古学的成果 を公開した。
	講演 「発掘ガールに囲まれて－私の考 古学－」	福島県立博 物館冬の特 集展記念講 演会	2015年3月8日	福島県立博物館講堂	冬の特集展の関連事業として、郡山女 子大学短期大学部文化学科で実践して きた考古学教育の成果を発表した。
	「旧石器時代研究のいま－方法論 の反省を踏まえて－」	平成27年度 まほろん文 化財講演会	2016年1月9日	福島県文化財センター 白河館講堂	旧石器研究の目的と研究方法について、 学史に基づき、最先端の研究成果と実 践例を紹介した。
仲 田 佐和子	(学術論文) 1. 博物館実習実質化の試み－福 島県立博物館冬の特集展『発掘 ガール』－	會田容弘・ 桑野聡と共 著	2016年3月	『文化学科（資格課 程）報告集』第18集	2012年から博物館実習において行っ ている実践力ある学芸員課程の学生の目 的と成果と問題点について論じた。
	2. 平成27年度博物館実習報告	単著	2016年3月	『文化学科（資格課 程）報告集』第18集	博物館学外実習8施設の報告を考察し、 次年度の博物館実習授業を展望した。
	3. 東京国立博物館見学会報告	単著	2016年3月	『文化学科（資格課 程）報告集』第18集	昨年度に引き続き文化学科及び専攻科 学生に東京国立博物館と国立新美術館、 その他施設の自由見学を実施し、今後 の博物館見学の指針を考察した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	その他 企画展示 1. 福島県立博物館冬の特集展 『発掘ガールー郡山女子大学短期 大学部笹山原遺跡発掘調査14年の 軌跡ー』	福島県立博 物館と共同	2015年2月7日 から3月22日	福島県立博物館企画 展示室	博物館実習で行っている展示実習成果 と考古学実習で行っている笹山原遺跡 No.16の発掘成果について持ち込み企画 として実施した。入場者は期間中約 3,000人にのぼった。
	2. 福島県文化財センター白河館 コラボ展『まほろん&発掘ガール 猪苗代湖周辺の考古学』	福島県文化 財センター 白河館と共 同	2016年1月9日 から2月14日	福島県文化財センター 白河館企画展示室	博物館実習の展示実習成果とまほろん 収蔵資料と笹山原遺跡No.16の出土資料 を展示し、猪苗代湖畔の考古学的成果 を公開した。

【社会活動】

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
関 口 修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人短期大学基準協会	理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	文部科学省高等教育局 大学設置・学校法人審議会 (学校法人分科会)	特別委員 高等教育に関する法人の管理運営等に関すること
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
影 山 彌	郡山市情報公開審査会	委員 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	副委員長 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
石 堂 常 世	日仏教育学会 会長、名誉会員	日仏教育学会の創設以来、35年間理事を。うち25年間事務局長兼理事、会長3期9年にて、平成27年10月25日の研究大会をもって退任。平成28年1月24日理事会にて名誉会員に推挙された。
	(公財)日工組社会安全財団 評議員	日本社会の治安維持、社会安全のための多方面にわたる研究助成を促進することを目的とする公益財団法人(警察庁関係)の評議員として、年数回の評議員会出席、助成金交付の審議等
	早稲田大学社会安全政策研究所 客員研究員	本研究所の創設時より少年非行防止、社会安全のための施策の共同研究にたずさわり、共著、論稿をものしてきたが、早稲田大学定年退職後は客員研究員として月例研究会に可能な限り出席
	福島県文化振興審議会 委員	第6期委員：平成26年11月7日～平成28年11月6日の任期、平成28年2月18日に全体会議、於：杉妻会館(県庁隣接) 福島県文化振興基本計画の内容説明と進行管理状況の報告、質疑応答
	郡山市都市計画審議会 委員	平成26年2月から、本審議会委員を務め、東日本大震災以降の郡山市の都市計画見直しプラン策定に参加し、現在2期目に至り、当見直し都市計画の実施に関する年数回の会議に参加

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市環境審議会 委員	都市計画審議会に隣接する環境問題の審議体であるが、当面は、国土交通省の推進する低炭素まちづくりのための対策を練るのが主題となっており、この課題を中核とする快適で便利な都市づくり政策を審議する。先進都市モデルケース調査として、平成28年1月25～26日に、富山市庁と長野県庁を委員たちで訪問、実施状況や課題を持ち帰った。
	郡山市教科書採択地区協議会 委員	①郡山市内の公立小学校・中学校の使用教科用図書の選定に係る委員の仕事を行った。
	学生派遣ボランティア制度大学協力委員	②郡山市教育委員会が平成27年度に開始した「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」に本学代表として参加協力。郡山の公立小・中学校の子どもの学習支援をボランティア活動として学生に勧める。その協定式（平成27年3月）に市内の2大学代表と共に調印した。児童生徒の主体的学びの意欲を学生の指導によってアップし地域力を生かすこの事業は、同僚の佐久間邦友講師の尽力を得て、本学から21名の参加者を得て成功裡に終わった。平成28年3月22日総括会議、次年度継続の見込み。
	きたかた応援大使（市長任命）	きたかた応援大使制度は、喜多方市の魅力を全国に発信し、市のイメージアップや産業・観光および教育文化の振興など、市の活性化を図るため設置された制度で、任期は当初2年、現行4年である。前市長の「喜多方ふるさと大使」初年度より委任、計14年にわたり関与している。市の発展のためのアドバイスや講演、協力など、平成28年2月5日に新市庁にて全体会議がもたれ、まちづくりと合わせ、とくに教育、文化の分科会で市教育委員会幹部一同から現状報告を受け、意見交換を行った。 https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/4240.html 参照。
	全国私立大学教職課程研究連絡協議会（全私教協）	本学で教職課程主任を務める関係で本協議会に出席している。全国大会と、東北地区大会の2種があり、そこでの協議内容や文科省の教職課程認定の改訂ポイント等について情報聴取する。東北大会については、副主任に出張を依頼、全国大会については、11月7日に佐藤副主任と金城学院大学での大会に参加、12月21日には新課程認定に関する文科省説明のため、佐久間委員と昭和女子大学に出向いた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	県中地区医療福祉関連教育施設連携協議会	本会は、星北斗氏（福島県看護学校協議会会長）によって、かねてより県中地区の看護・福祉系教育機関（専門学校・大学）の連携を強くして、これからの時代が求める新しい看護・福祉の人材育成をはかる連絡協議会として起案され、平成27年12月1日に、市内3大学と看護・福祉・医療の7専門学校が集まり第1回会議をもった（福島民報、福島民友、日経メディカルとも12月3日掲載記事）。本学は、食物、福祉、家政系学科・専攻を擁している関係から参画を要請された。統合実習、チーム医療・介護などで本学に益する要素が多く、また貢献できる面もある。平成28年3月24日の第2回会議で、福島県の一般社団法人化が決定し、その手続きに入った。定款が整い、会長に星氏、副会長に石堂が選任され、事務局はポラリス保健看護学院となり、法人化の手続き完了を待って、他職種連携教育の実習や、そのプログラム開発を進めることになった。
	<講演等>	
	1. 平成27年度福島県私立中高等学校保護者会講演	演題「出会いの哲学－自己成長の基を問う－」を平成27年5月29日、福島県の私立中学校・高等学校の保護者と教職員を前に、飯坂町吉川屋に於いて講演した。パワーポイント24枚
	2. 早稲田大学会津稲門会創立90周年大会基調講演	会津稲門会創設90周年を祝賀する会で、記念講演会「人生をデザインする私の早稲田大学魂」の題で講演を行った。会津出身で早稲田大学を卒業した人材からなる早稲田大学OBメンバー、ならびに祝いに参加した県内東京6大学の同窓会の幹部メンバー等が、2015年8月23日に会津若松水林に参集、福島民報、福島民友8月23日（全県版）および24日（全県版・会津版）に掲載。パワーポイント36枚
	3. 2015年度「開成の杜教育会」講演	本学卒の教職従事者の集まりの2年目となった今年は、平成27年10月17日、本学ラーニングコモンズ1で総会を開催し、合わせて3人の教員による教育実践報告の後、教育時事問題「道徳の教科化をめぐる」の講演を行った。パワーポイント32枚

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
武 井 玲 子	(一社)日本家政学会色彩・意匠学部会 (部会長、監査役)	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与する。
小 阪 康 治	日本臨床死生学会 一般財団法人 ふくしま医療機器産業推進機構動物 実験委員会	理事 委員 (倫理担当)
山 形 敏 明	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	評議委員として評議委員会に出席
難 波 めぐみ	郡山市技能労働者専攻委員会 日本家政学会 色彩・意匠学部会 独立行政法人日本学術振興会研究事業部 科学研究費委員会専門委員 郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」 NHK文化センター 平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習)	委員 郡山市の産業発展に貢献した卓越技術者の選定及び表彰 (9、10月) 委員 部会のHP作成担当 科学研究費助成事業の配分等に関する審査 講師 「『源氏物語絵巻』に見る生活と色」の講演を行った。 講師 「平安王朝貴族の生活と色－『源氏物語絵巻』を中心として－」の講演を行った。 選択領域家庭科講師 「快適な衣生活」について講義及び実習を担当した。
石 原 正 道	SSHサイエンスアドバイザー	スーパーサイエンスハイスクール (SSH) におけるサイエンスアドバイザーを担当した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
熊 田 伸 子	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第六次郡山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の実施状況について協議した。
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した。
	郡山市地方社会福祉審議会	委員（副委員長）
	高齢者福祉専門分科会	高齢者福祉に関する郡山市からの諮問事項について審議した。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
佐 藤 典 子	愛知サマーセミナー	特別講演講師 テーマ「N.SATOの生活科学実験～糖度測定～」
	東京都青梅市夏休み親子実験講座	講師 テーマ「夏にぴったり！冷たいデザート作り」
	東京都三鷹市消費生活講座	講師 テーマ「震災と消費生活 ～お鍋でご飯を炊いてみよう～」
	日本食生活学会評議員	平成26年度より、評議員を拝命している。
	郡山市消費生活審議会委員	平成26年10月より2年間の任期で委員を拝命し、郡山市消費生活センター組織及び運営等に関する条例の制定、左記条例施行規則の制定、郡山市民の消費生活を守る条例の一部改正等の審議に関わった。
	第63回福島県高等学校家庭クラブ連盟 研究発表大会	学校家庭クラブ部門、ホームプロジェクト部門の審査員を務めた。
	食品に関するリスクコミュニケーション事業	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省主催、福島県、郡山市共催の事業が郡山市で開催され、専門家と市民をつなぐコーディネーター役を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
堀 琴 美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。
	エフパネット福島 (福島虐待問題研究会)	理事 福島県を中心に、虐待問題に関する広報活動や研究活動、相談業務などを行う団体で、運営の支援や相談技術の指導・訓練を行っている。
	エフパネット福島 特別講演会	コーディネーター 「家族を支える地域のチカラ ー子どもの虐待を防ぐためにー」というテーマで3人の専門家を迎え、シンポジウムを行った。
	一般社団法人リエゾン平成27年度よりそい型 相談支援事業（全国・被災地）専門対応業務	専門員 電話相談「よりそいホットライン」の相談員に対するスーパー・ビジョン、アドバイス、訓練を行っている。
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室	講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「デートDV防止講座」「DV・虐待の被害者支援」を担当。
	子育て養育支援ヘルパー養成講座	講師 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」のヘルパー養成講座で、「DVに関する問題の理解と支援」の講習を行った。
	2015年度福島スクールソーシャルワーカー協会 市民講座	講師 「隠れたSOSを見逃さない支援者の眼」と題し、子どもや家族の支援に携わる教育、福祉、心理、医療、保健など専門家を対象にした研修。
	放送大学福島学習センター	客員准教授 学生の学習・進路相談と心理学分野のゼミを担当。今年度のテーマは前期「子どもの発達とメディアの影響」（7回）、後期「メディアバイオレンスと子どもの発達」（7回）。
渡 邊 英 勝	放送大学福島学習センター 公開講座	講師 いわき市で一般市民を対象に「子どもの愛着形成と共感力 ー愛情ホルモンと物マネ神経細胞の話ー」と題し講演を行った。
	放送大学福島学習センター 面接授業講師 本宮市地域連携事業	区分「生活と福祉」科目名「地域福祉とソーシャルワーク」 本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	障がい者支援施設「宇津峰十字の里」 第三者評価委員	障がい者施設の「組織マネジメント」「支援サービス」について第三者評価を行った。
	郡山女子大学サマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会) 講師	講義「高齢社会と地域福祉」
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくり サポーター養成研修会講師	地区社会福祉協議会の活動をサポートするボランティアの養成研修 大宮地区社協、猪之頭地区社協の2か所
	富士宮市社会福祉協議会ふくしのまちづくり サポーターフォローアップ研修会講師	ふくしのまちづくりサポーターのステップアップ講座 講話「社会福祉の新しい潮流の中の地域福祉」 対談「福祉のまちづくりサポーターの役割とは」
	富士宮市地域福祉推進セミナー講師 明和学園短期大学 非常勤講師	富士宮市・市社協の共催事業、地域福祉活動の充実・発展に繋げていく 「社会福祉概論」
泉 秀 生	本宮市地域連携事業 スーパー食育推進委員 「郡山市子どもの心と体の育ち見守り事業」 調査研究委員会 日本食育学会議 企画委員会委員長 日本食育学会議 日本幼児体育学会 シンポジウム： 「近年の子どもの抱える課題と対策Ⅱ」	本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力 新地町における食育推進プロジェクト事業の協力 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催の調査研究委員会において、 子どもの遊びと運動、食事の実態把握のための調査ならびに対応策の検討 第3回 生活リズムと食のセミナー を企画・運営 理事として、学会の運営 理事として、学会の運営 第3回 生活リズムと食のセミナーにおけるシンポジウムにて、研究者 の立場から、生活リズムの乱れについて報告

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	シンポジウム： 「親も子も笑顔輝くのびのび実践」	すこやかキッズ支援全国セミナー第12回大会におけるシンポジウムにて、 コーディネーターとして調整・まとめ役
	平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状講習会)	中学・高等学校課程の教員を対象に「子どもの生活の変化を踏まえた課 題①」と題して講義を実施
	平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状講習会)	幼稚園課程の教員を対象に「幼保一体化をめぐる最新動向」と題して講 義を実施
	郡山女子大学家政学部人間生活学科 市民講座	「郡山市の子どもたちの生活実態とその課題」講師
阿 部 恵利子	日本木材学会環境委員会	委員 自治体における木材利用の環境貢献に関する取り組みについて調査した。
	日本建築学会	日本建築学会誌「技術報告集」の報告査読
	福島中央テレビ (FCT)	「必見！家庭で簡単に試せるカビ対策」資料提供 (2015. 6.26放送)
廣 野 正 子	福島県社会福祉協議会	講師。平成27年度介護福祉士受験準備講習会 県内福祉人材の介護福祉士国家資格の取得推進を目的として、講習会が 開催され、介護領域の介護の基本について講師を務めた。
	福島県社会福祉協議会	講師。2015年度 介護福祉士 全国統一模擬試験 県内福祉人材の介護福祉士国家資格の取得推進を目的として、模擬試験 が開催され、模擬試験問題の解答解説とポイント整理について講師を務 めた。
	本宮市地域連合事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
	第27回介護福祉士国家試験実地試験委員	第27回介護福祉士国家試験実地試験委員 実技試験における試験採点等の業務。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本介護福祉士養成施設協会	第27回介護技術講習会の指導者（5月、9月の2回実施） 介護福祉士国家資格の実技試験の免除を申請する方を対象に、32時間の介護技術講習の指導者を務めた。
Daniel O. Horner	Department of Human Life. Member of the Lifelong Learning Committee. English Club Supervisor. Member of the Committee to Improve Education in Miharu. Member of the University of Wisconsin-Eau Claire Alumni Association.	I teach lifelong learning English education courses to adults. I am in charge of setting up the rooms and displays for open campuses. I am in charge of supervising activities for the English Club. In Miharu Town, my main duty on the committee is to bring members of the community and EFL teachers into the schools to promote education and globalism through active, real-life learning. For the Alumni Association, I coordinate the educational exchanges in Japan for the visiting professors from the University of Wisconsin-Eau Claire.
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会 幹事 日本建築学会民家小委員会 委員 福島県国見町「国見町歴史的風致維持向上計画」調査員 高畠石の会 顧問 文化庁、宮城県委託事業 宮城県近代和風建築総合調査 調査員	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に幹事として携わった。 民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。 「国見町歴史的風致維持向上計画」（文部科学省・農林水産省・国土交通省認定）で策定した歴史的風致維持向上に関する事業の中で、国見石の保存・活用調査事業を担当し、国見石に関する採掘や石切り場の調査および国見石製の建造物の悉皆調、歴史的建造物の文化財への指定などを実施した。 「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動、まちあるき、講演などを行った。 文化庁が推進する近代和風建築総合調査の宮城県における調査事業に調査員として活動した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	行政受託調査事業：旧小坂村産業組合石蔵の登録有形文化財指定に向けた調査	昭和初期建築の旧小坂村産業組合石蔵（国見町）について実測調査や聞き取り調査などを実施し、各種図面や所見の執筆を行った。調査成果は登録有形文化財（建造物）の申請に用いられ、平成28年3月に申請が認可されて、国指定登録有形文化財（建造物）となった。
	行政受託調査事業：温湯温泉旅館二階堂の登録有形文化財指定に向けた調査	明治初期に建築された温湯温泉旅館二階堂（福島市）の2棟の建物について登録有形文化財（建造物）に指定するための調査を実施した。
	行政受託調査事業：飯豊町における近世・近代建造物の調査	飯豊町が平成27年7月に受けた「文化遺産を活かした地域活性化事業（歴史文化基本構想策定支援事業）」の一環として、飯豊町の近世から近代にかけて建築された建造物の調査を実施した。
	行政受託調査事業：宮城県近代和風建築総合調査－七ヶ宿町、蔵王町	宮城県の近代和風建築総合調査において七ヶ宿町と蔵王町を担当し、山家家住宅（蔵王町）の主屋、長屋門について実測調査を行った。
	講習会：平成27年度ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講演発表「登録有形文化財申請に係る「所見」の書き方ほか」主催：福島県歴史的建造物保存活用促進協議会
	講演会：平成27年度郡山女子大学人間生活学科市民講座講師	講演発表「「ことば」に秘められた住まいの歴史－探してみよう建築用語」主催：郡山女子大学人間生活学科
	講演会：飯豊学講座地域史学習会講師	講演発表「飯豊町の付属屋に隠された匠の技－渡邊家長屋門を例に」主催：飯豊史話会
	パネルディスカッション： 2015年度日本建築学会大会建築歴史・意匠部門PD	日本建築学会民家小委員会の委員として、パネルディスカッション「もう一つの「民家」の系譜－付属屋と小屋」の運営に携わり、書記として概要をまとめた。
	展覧会：高畠石のパネル展	高畠町総合交流プラザを会場に、高畠石の会主催のパネル展を実施し、資料提供および制作パネルの展示を行った。主催：高畠石の会

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	体験イベント：石工サミットⅢ	高畠石の石切り丁場を会場に高畠石の採掘体験（角石・間地石）やこれまでの調査成果をまとめたパネル展示などを行うイベントを開催し、調査資料の提供などを行った。主催：東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター 後援：高畠町教育委員会 協力：高畠町石材工業組合、高畠石の会
佐久間 邦 友	日本教育事務学会研究推進委員会	幹事 平成25年12月から平成27年12月まで研究推進活動に関する事務などを担当した。
	日本教育事務学会	理事 平成27年12月から学会の会務等に関して担当している。
	日本教育事務学会第3回大会（国士舘大学）	第3分科会司会 「『チーム学校』と学校事務の役割・専門性を考える」の中で、第3分科会「地域の人とどう「チーム」を組んでいくか（CSの取組から）の司会を担当し、その内容を学会ニュースレターに寄稿した。
	独立行政法人労働者健康福祉機構東北労災看護専門学校	非常勤講師 平成27年5月から「教育学」を担当している。
藤 本 健四郎	（独）科学技術振興機構 （研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP） 専門委員）	（平成26年度～平成28年3月31日） 研究課題の選考に関わる事前評価および研究終了後の事後評価
	日本油化学会関東支部	幹事 支部主催の行事の検討
	日本食品科学工学会東北支部	評議員 支部の運営
	日本食生活学会	理事 学会の運営
	日本栄養・食糧学会東北支部	評議員 支部の運営

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
諸 岡 信 久	日本農芸化学会東北支部会	参与 (平成27年4月1日～現在に至る)
	アカデミア・コンソーシアム福島（文部科学省・大学間連携共同推進事業） 大学が発信する「入学前教育」・放射線の状況・対策に関する情報発信担当委員	委員 (平成27年4月1日～現在に至る)
	郡山テクノポリス推進機構研究評価委員会	委員（平成27年4月1日～現在に至る）
	アカデミアコンソーシアムふくしま 短期留学研修「日本文化研修」	日本に留学を考える学生に郡山開成学園で日本文化（日本の被服、茶道・浴衣体験、考古学および日本画・版画の鑑賞）を体験する企画を実施した。（平成27年8月5日）
	アカデミアコンソーシアムふくしま 「日本文化研修」	日本に留学を考える学生に郡山開成学園で日本文化（放射能汚染についての講義、日本の被服、抹茶・和菓子体験・浴衣体験）を体験する企画を実施した。放射能汚染についての講義を担当した。（平成27年8月24日）
	福島県／郡山女子大学連携事業（日本原子力研究機構協力）「内部被ばくについて正しく知ろう！」	福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と内部被ばくの理解を目的とし、震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。また、ホールボディ車による内部被ばく測定をした。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。（平成27年10月3・4日）
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2015 出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表した。（平成27年10月19・20日）
	ふくしまスーパーJチャンネル 「給食で食中毒 専門家は」	給食で発生したヒスタミン食中毒について取材を受けた。 KFB福島放送（平成28年1月15日放送）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	みんなでこれからを考える「ポジティブカフェ」 2016 除染情報プラザ（福島県／環境省）	郡山女子大学学生サークルNLS部として活動紹介と展示協力を行った。 また、後援・活動団体として運営に協力した。本件に郡山女子大学環境 委員会委員とNLS部顧問として尽力した。（平成28年2月11日）
紺 野 信 弘	郡山市あさかの学園大学 日本衛生学会	講師・「生涯学習講座」 評議員として会の運営に協力
藤 原 建 樹	郡山市災害給付金審査委員長 GSKジャパン研究審査委員 てんかん治療研究振興財団理事	給付の適否に関する審査 研究課題の審査ならびに選定 財団運営に関する審議・議決
西 山 慶 治	福島県立医科大学倫理委員会専門部会員 第35回人体解剖トレーニングセミナー 福島県立医科大学で人体解剖学の講義と実習指導 仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科で解剖 学の講義と実習の指導 第121回日本解剖学会総会・全国学術集会実行委員	福島県立医科大学で実施する臨床試験研究に対する倫理審査の職務を2 年間担当する。 名古屋大学医学部で開催のセミナーで、医療系大学や養成校の解剖学の 教官に対して人体解剖実習を指導した。 非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義と実習、並びに口頭試問 をそれぞれ3回ずつ実施した。 非常勤講師として看護学の学生に解剖学の講義と実習を行った。 プログラム委員会、学会トラベルアワード審査員、学会アルバイト募集、 学会員のスポーツ交流会などを担当。
鉾 野 信 子	福島県食品産業協議会 郡山市食育推進協議会	郡山女子大学が本協議会の特別会員になっていることから、本学代表窓 口として、総会および研修会に出席し産学官との交流を深めた。 会長として、郡山市食育推進計画の進行状況、その他食育の推進に関す ること等について、協議会を代表し、会務を総理した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県卸売市場審議会	委員として、「福島県卸売市場整備計画」の審議に携わった。
	福島県農業総合センター農業短期大学校	非常勤講師として、「農畜産物加工」を担当した。
	福島県農業総合センター農業短期大学校運営会議	委員として、本大学校が、適切かつ円滑に運営されるよう、その教育・研究等の基本的事項について協議した。
	平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状講習会)	講師として、選択領域⑤「食生活と健康」において、「食べ物のおいしさと食嗜好の形成」について講義した。
	県南調理師会 調理師試験予備講習会	講師として、調理師試験対策のための「調理理論」、「食文化概論」、「栄養学」の予備講習を行った。
	「秋の大試飲会」(福島県南酒販株式会社主催)	「郡山女子大学ブース」を出展し、伝統的な甘酒とメキシコのテキーラを融合させた新しい飲酒のスタイルを提案した(於、ホテルハマツ)。
	アサヒビール園メニュー共同開発(第5弾)	ビール園にて提供するメニューとして、女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
	日本伝統食品研究会	幹事として、会の運営に携わった。
	福島民友新聞社取材協力	特集紙面「おいしいね。ふくしま～2015秋」の中の「発酵で高まる食品の栄養価」についてインタビュー記事が掲載された(2015.10.31)。
菊 池 節 子	平成27年度 学校における食育推進プロジェクト事業 学校における食育推進委員会 スーパー食育スクール推進委員会	委員 福島県教育委員会の栄養教諭を中心とした食育の推進事業において、実践校の円滑な取組みへの支援並びに実践の検証と評価に携わっている。 委員 文科省「スーパー食育スクール」の指定を受けて食育推進事業を展開している新地町で、食育のモデル実践プログラムの構築などに携わっている。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市スポーツ推進審議会	委員 郡山市のスポーツ事業計画策定案の検討等に携わっている。
	「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」 調査研究委員会	調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、 子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。
	郡山市委託事業「食育ハーモニー講演会」	講師 幼児の保護者を対象に「免疫力UP・バランスのよい食事」の講話、子 どもと一緒に作る簡単な調理の紹介等、免疫力アップの工夫を提案した。 (平成27年5月17日)
	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町住民を対象に、「減塩調理のポイント」の講話と実習、天然素材 だしのとり方紹介等、参加者の健康増進と疾病予防意識の高揚を図った。 (平成27年6月2日)
	アカデミアコンソーシアムふくしま 短期留学研修「日本文化研修」	日本に留学を考える学生を対象に、本学で日本文化（日本の被服、茶 道・浴衣体験、考古学および日本画・版画の鑑賞）を体験する企画に協 力した。(平成27年8月5日)
	郡山市桃見台公民館主催 「トライキッズスクール」	講師 小学生を対象に、「夏のおまかせランチづくり」の体験活動を通し、心 身共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。 (平成27年8月6日)
	震災後子どものケアプロジェクト 「PEP UP KORIYAMA」主催 平成27年度第5回運動実技講演会並びに研修会	講師 プレイリーダーや幼稚園教諭などを対象に、保護者からよくある質問等 についての解説を中心に、「子どもの栄養豆知識」の講話を行った。 (平成27年8月8日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	アカデミアコンソーシアムふくしま 「日本文化研修」	日本に留学を考える学生を対象に、本学で日本文化（放射能汚染についての講義、日本の被服、抹茶・和菓子体験・浴衣体験）を体験する企画に協力した。（平成27年8月24日）
	放送大学福島学習センター面接授業 「高齢者の食と栄養管理」	講師 高齢者の生理的特徴と栄養ケア、誤嚥を起こすことなく安全で楽しい食事のための調理の工夫と実践等について、講義と実習を通して紹介した。 （平成27年10月31日・11月1日）
	郡山ザベリオ学園後援会学年委員主催 「発酵食品について学び、みそ作りに挑戦しよう！」	講師 小学校5年生を対象に、手作りみその体験活動を通し、発酵食品に興味関心を持ってもらい、ものづくりの楽しさを共有することを試みた。 （平成27年11月21日）
	新地町教育委員会主催 食育講座X	講師 尚英中学校1年生を対象に、「成長期の大切なカルシウムをおいしく食べよう」の講義ならびに実習を行い、生徒たちの意識の向上を図った。 （平成27年12月4日）
	会津農林高校内進学相談会	2年生の食物・栄養系志望生徒を対象に、「高校生の栄養アセスメントと栄養ケア」の模擬授業を実施した。（平成27年11月25日）
	日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 福島県栄養士会	理事として会の運営に携わっている。
	第63回日本栄養改善学会実行委員会	学術総会学術委員として、学会運営企画等に携わっている。
安 田 純 子	オーストラリア学会	理事・編集委員、学会運営・大使館ならびに豪日交流基金関連行事・学会誌「オーストラリア研究」第29号編集
	日本観光学会	北海道・東北支部評議委員、学会実施
	国際女性の地位協会	編集委員、「国際女性」（尚学社）編集

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	第26回福島県留学生交流推進会議・第27回福島県留学生交流推進会議運営委員会	構成員・運営委員、第26回福島県留学生交流推進会議参加・第27回福島県留学生交流推進会議運営委員会参加
	郡山市国際交流協会	会員、協会行事参加
	アカデミア・コンソーシアム福島（文部科学省・大学間連携共同推進事業） 「日本文化研修」	日本に留学を考える生徒を対象に、本学で日本文化（日本の被服、茶道、浴衣体験、考古学および日本画・版画の鑑賞）を体験する企画に協力した。（平成27年8月）
	アカデミア・コンソーシアム福島 「太平洋・島サミットアフターイベント」	いわき市で行われた「太平洋・島サミットアフターイベント」（島嶼国出身留学生と県内の学生との交流）事業に協力した。（平成28年1月・2月）
関 口 晋	日本私立短期大学協会 運営問題委員会 教員免許更新講習会（本学主催）	私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究 講義「食生活習慣と体のしくみ」
岡 部 聡 子	小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」	講師 基礎代謝量の測定を実施し、1日に必要な適正エネルギーについて伝えとともに、健康の維持増進に向けた減塩・野菜量アップを目指したヘルシー料理教室を実施した。
	郡山市総合地方卸市場運営協議会委員	協議会委員として年数回行われる会議に参加した。
	ACN2015（第12回アジア栄養学会議）	インフォメーションブースのボランティアをおこなった。
	附属高等学校卓球部 「鉄量アップ！のアスリート食」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、鉄摂取量を上げる料理教室を開催した。
先 崎 和 子	小野町母子推進員	委員 母性及び乳児の育児教室の案内や出産後の訪問を実施し、母子の健康増を図った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	更生保護女性会	会員 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力した。
	ふるさと暮らし支援センター	会員 交流人口及び定住人口の拡大を図るため、移住希望者へPR活動や移住者への支援のほか、田舎料理づくり等の移住体験・交流を行う。
	平田村主催 レディースセミナー	講師 平成27年度 大人の教養講座の受講生を対象に、「秋の味覚料理」の調理実習を行い、平田特産のさつま芋シルクスweet、そば、大根、白菜を使ったメニューの実習を行い生活習慣病予防のため意識の向上を図った。
	郡山ペップ子育てネットワーク主催 「食育ハーモニー」	講師 2～3歳児の親子を対象にカルシウム豊富な手づくりおやつの実習やおやつのポイントの講話をし、子どもに適したおやつについて再認識と手づくりおやつの意識の向上を図った。
	小野町国民健康保険保健事業 「ヘルシー料理教室」	講師 小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、減塩料理の調理実習を行った。
	学校法人帝京安積高校ガイダンス	1・2年生の食物栄養志望生徒を対象に、「ライフサイクルの視点で食育を考える」についての模擬授業を実施した。
	アカデミアンコンソーシアムふくしま 「日本文化研修」	日本文化（放射能汚染について講義、日本の被服、抹茶、和菓子体験、浴衣体験）を体験する企画に協力した。（平成27年8月24日）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
亀 田 明 美	郡山市中学校給食会運営委員会	委員 郡山市中学校給食会運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	学校における食育推進委員会	委員 福島県教育委員会主催の、「学校における食育推進プロジェクト事業」に、委員として携わった。
	三春町立三春中学校・スーパー食育スクール事業推進委員会	委員 文部科学省主催「平成27年度スーパー食育スクール事業」の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わり、学校給食の摂取量調査等に協力した。
	西郷村食育推進検討委員会	委員 福島県西郷村主催の食育推進事業に委員として携わり、村内の小中学校で行われる、研究授業や講演会等において助言や講演を行った。
	平成27年度ふくしまっ子の食環境を考える会	講師 福島県教育委員会主催 平成27年度 ふくしまっ子の食環境を考える会・県南方部、県中方部の両会場において、個々の児童生徒の実態に基づいた給食指導や食に関する指導の重要性について講演を行った。
	第48回東北学校保健大会	講師 第48回東北学校保健大会・「食に関する指導」分科会における研究発表や、研究協議について、指導助言を行った。
	郡山市学校給食調理員研修会	講師 郡山市教育委員会主催の学校給食調理員研修会において、学校給食調理のポイントについて講演を行った。
	福島県学校給食研究会栄養士部会会報	福島県学校給食研究会栄養士部会より原稿依頼を受け、会報第87号に、「学校給食における栄養・食事管理について思うこと」を執筆した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」	小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ることを目的として、夏野菜を使用した減塩料理の調理実習を行った。
	公益社団法人郡山青年会議所主催事業	公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山風土フェスタ事業」の、運営に協力した。
影 山 志 保	独立行政法人国立環境研究所環境リスク 研究センター 客員研究員	国内大気の汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当した。 (平成27年4月1日から現在に至る)
	アカデミアコンソーシアムふくしま 短期留学研修「日本文化研修」	日本に留学を考える学生に郡山開成学園で日本文化（日本の被服、茶道・浴衣体験、考古学および日本画・版画の鑑賞）を体験する企画を実施した。(平成27年8月5日)
	アカデミアコンソーシアムふくしま 「日本文化研修」	日本に留学を考える学生に郡山開成学園で日本文化（放射能汚染についての講義、日本の被服、抹茶・和菓子体験・浴衣体験）を体験する企画を実施した。(平成27年8月24日)
	福島県／郡山女子大学連携事業（日本原子力研究機構協力）「内部被ばくについて正しく知ろう」	福島県と郡山女子大学学生サークルNLS部による市民への放射線の説明と内部被ばくの理解を目的とし、震災や原発事故についての郡山女子大学の取り組みについて発表した。また、ホールボディ車による内部被ばく測定をした。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部の顧問として尽力した。(平成27年10月3・4日)
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア 2015出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表した。(平成27年10月19・20日)
	みんなでこれからを考える 「ポジティブカフェ」2016 除染情報プラザ（福島県／環境省）	郡山女子大学学生サークルNLS部として活動紹介と展示協力を行った。また、後援・活動団体として運営に協力した。本件に郡山女子大学環境委員会委員とNLS部顧問として尽力した。(平成28年2月11日)
	学校法人石川高等学校ガイダンス	1・2年生を対象に食物・栄養系志望生徒を対象に、「食をまなぶということ」をテーマとした模擬授業を実施した。(平成28年3月9日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
根 本 恵美子	宮城県仙台市 秋保温泉 岩沼屋	第47回全東北茶道大12団体約130名参加（関東・関西より特別参加含み）により各大学設営の茶室訪問および懇親会での親睦をはかる。 （平成27年5/23～5/24）
	小野町国保ヘルスアップ事業第4回 小野町勤労青少年ホーム	講師 「高血圧を予防するための食生活について」 高血圧の病態と塩分および食事の関係
	アカデミア・コンソーシアムふくしま 日本文化研修（茶室 慎思庵）	日本の伝統文化である茶道・和菓子・着物体験 （平成27年8月5日）
	アカデミア・コンソーシアムふくしま 日本文化研修（茶室 慎思庵）	日本の伝統文化である茶道・和菓子体験 （平成27年8月24日）
	福島県腎臓病患者研究会 福島市 保健センター	病態と食事講演会 事務局補佐
	二本松市市民文化祭	来場者に対し抹茶・お菓子の提供（平成27年10月25日）
	相馬市公民館 相馬腎臓病研究会	調理実習および講演 腎臓病の病態、検査値の見方、食事について （平成27年11月8日）
	第2回日本栄養改善学会 東北支部学術総会 仙台艮陵会館	「福島県郡山市内医療関係機関を対象とした管理栄養士に関わる意識調査共同研究発表 （平成27年11月28日～11月29日）
	日本の伝統文化・学校茶道 大山小学校	講師 伝統文化と茶道。茶道の歴史、利休7則、お辞儀（真・行・草）抹茶・お菓子の頂き方、実技。
	福島県栄養士会	監事 栄養士会の会計監査に携わる。
	日本病態栄養改善学会	

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
佐 藤 浩 明	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 関連事業等郡山市推進アドバイザー	大会関連事業に係る指導及び助言に関すること。 大会関連事業に係る人材育成への指導及び助言に関すること。 その他市長が必要と認める事項に関すること。
善 方 美千子	アカデミアコンソーシアムふくしま 短期留学研修「日本文化研修」 アカデミアコンソーシアムふくしま 「日本文化研修」 大学と国立那須甲子青少年自然の家との 連携促進会議 国立磐梯青少年交流の家 法人ボランティア主催事業	日本留学を考える学生が、本学で日本文化体験（日本被服、茶道・浴衣 体験、考古学・日本画・版画の鑑賞）をする事業に協力。(2016. 8.5) 日本留学を考える学生が、本学で日本文化体験（放射能汚染の講義、日 本の被服、抹茶・和菓子・浴衣体験）をする事業に協力。(2016. 8.24) 教育及びボランティア活動における、独立行政法人国立青少年教育振興 機構と大学との連携協議会に連携係として出席および協力。 (2016. 1.11) 講師 ボランティア活動を志す青少年の自主企画「磐梯新芽ちゃんキャ ンプ」にて、講話ならびに老人養護施設での活動を実施。 (2016. 2.20-21)
横 田 和 子	小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」 小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」 公益社団法人郡山青年会議所主催事業 附属高等学校卓球部 「鉄量アップ! のアスリート食」	講師 基礎代謝量の測定を実施し、1日に必要な適正エネルギーについ て伝えるとともに、健康の維持増進に向けた減塩・野菜量アップを目指 したヘルシー料理教室を実施した。 小野町の一般町民を対象に、健康増進と疾病予防意識の高揚を図ること を目的として、夏野菜を使用した減塩料理の調理実習を行った。 運営協力 公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山風土フェスタ事業」の、運営に 協力した。 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、鉄摂取量を上げる料 理教室を開催した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
本 間 杏 菜	小野町国民健康保険事業 「ヘルシー料理教室」	基礎代謝量の測定を実施し、1日に必要な適正エネルギーについて伝え るとともに、健康の維持増進に向けた減塩・野菜量アップを目指したヘル シー料理教室を実施した。
	公益社団法人郡山青年会議所主催事業	運営協力 公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山風土フェスタ事業」の、運営に 協力した。
	附属高等学校卓球部 「鉄量アップ！のアスリート食」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、鉄摂取量を上げる料 理教室を開催した。
石 村 由美子	アカデミアコンソーシアムふくしま理事	アカデミアコンソーシアムふくしまに加盟する県内の16大学・短大が取 り組んでいる「大学間連携共同教育推進事業」に係る連絡・協議会運営 に参加。
	棚倉町農作物・物産物ブランド認証審査委員	棚倉町農作物・物産物ブランド化推進協議会が取り組む、地元農産物・ 物産物の知名度の向上と全国へのアピールを目的とした、ブランド化へ 向けた認証審査委員会に参加する。
田 辺 真 弓	福島県文化財保護審議会	審議委員・福島県知事から諮問された福島県指定重要有形・無形文化財 候補について、調査報告に基づいて審議を行い、答申した。
	公益信託棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長・公益信託奨学育英基金の運営について、郡山市教育委員会 の案に基づいて協議し、受給対象者を選定した。
	(一社)家政学会 服飾史・服飾美学部会	委員・部会の運営について協議するとともに、部会報発行に携わった。
	放送大学福島学習センター	平成27年度非常勤講師・科目名「近代日本の服飾文化」の面接授業8時 限を担当した。
	アカデミアコンソーシアムふくしま 短期留学研修「日本文化研修」	日本への留学を考えている欧米、アジア等の出身学生21名を対象とした 「日本文化研修」で、学校法人郡山開成学園「日本風俗美術館」展示の 時代衣裳解説を担当した。(2015年8月5日、24日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
知 野 愛	鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進有識者会議 第67回日本家政学会年次大会実行委員会 （一社）日本家政学会東北北海道支部役員 郡山看護専門学校看護学科 テレビユー福島番組審議会	委員・地域創生総合ビジョンの子育て支援に関する記載について、家庭支援論の立場から発言した。 大会実行委員（記録係）・各会場の記録写真を会期中撮影し、報告書作成に携わった。 道県幹事・日本家政学会年次大会実施打合せ会等に出席した。 講師・「家族社会学」講義。 審議委員・課題番組の合評に参加し、家庭支援論の立場から発言した。
山 口 猛	サマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習）	7月30日(木)「コミュニケーションと情報」における「授業でのパソコン活用法を考える」パートの講師
坂 上 茂	第11回食育推進全国大会福島県実行委員会	平成28年に郡山市で開催される食育推進全国大会の福島県実行委員会企画部会員
會 田 久仁子	郡山市下水道等事業運営審議会委員 平成27年度福島県元気なふくしまっ子「食」体験・交流推進事業 “農育”&“食育”プロジェクト2015 「うねめの里げんき塾」全体講師	郡山市の公共下水道事業および農業集落排水事業の適正かつ効率的な運営に資するために置かれた審議会において、下水道等事業の運営に関し必要な事項を審議する。 福島県の子どもたちに農業体験や流通現場の見学、調理体験等を通して「食の大切さ」と「農業、地域産品の魅力」を学ばせ、地産地消を中心とした食生活への理解を深めさせ次世代を担う人材の育成にあたる催しが企画され、その開催にあたり、事業の全体運営の講師を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	あぶくま石川農業協同組合平成27年度「食育のつどい」講師	平成27年度「食育のつどい」第2部講演「ごはんがすすむお弁当を作ろう」の講師を務めた。石川郡内の小学校8校と古殿町の子ども会が参加し、今年度バケツ稲学習が行われた。稲作を通し田んぼの役割や食の大切さ、一粒の米が食卓へ並ぶまでの苦労や喜びについて子どもたちは学んだ。自分や誰かのために作るお弁当が素晴らしく、お米を中心とした食生活の良さを理解してもらうため、ごはんを中心としたお弁当に焦点を合わせて、今回のつどいが催された。
	郡山女子大学附属幼稚園 第9回「父母の講座」2月17日実施	第9回父母の講座 「おいしく食べる！」は「たのしく生きる」講師を務めた。
水 野 時 子	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム委員	子どもたちが明るく健やかに成長するための環境づくりに委員として携わった。
	郡山市市民活動推進顕彰事業（まちづくりハーモニー賞）審査委員会委員	魅力と活力あるまちづくりに先導的な取り組みをしている方々を表彰するための審査に、委員長として携わった。
	附属高等学校卓球部 「鉄量アップ！のアスリート食」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、鉄摂取量を上げる料理教室を開催した。
小 林 澄 枝	福島県立総合衛生学院・看護学科	非常勤講師として「臨床看護総論」「栄養学」担当している。
	うめつLS内科クリニック（糖尿病専門医）	糖尿病患者に糖尿病療養指導士として食事療法及び栄養カウンセリングを月2回（土）行っている。
	リビング郡山記事掲載	そのアンチエイジング法やダイエット法って正しいの？ アンチエイジング食生活について執筆し掲載した。2015. 5.30 1474号
	料理レシピサイト「クックパッド」に学生考案メニューを公開	郡山女子大学食物栄養学科と短期大学部食物栄養専攻の学生が考案した料理メニューをクックパッドに公開した。選定コンセプト「小児が不足し易い栄養を補える料理」簡単レシピ。2015. 4.10～

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	相双・地産地消で和の創作汁物料理コンテスト 審査委員	福島県相双農林事務所主催 「家庭における農林水産物の地産地消推進」を目的に和の創作汁物料理コンテストが開催された。応募アイデアレシピ500メニューの中から審査委員として書類審査、調理・試食審査を行った。 2015.10.18
	「ふくしまの食と安全安心セミナー」	福島県農林水産物流通課主催 県内の学生に対する本県の農林水産物の安全安心のPR事業として「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを企画し、学生主体のセミナー＆料理実演・試食等を短大生100名を対象に開催した。2015. 8. 5（水）
	“農育”&“食育”プロジェクト うねめの里 げんき塾	平成27年度福島県元気なふくしまっ子「食」体験・交流推進業務委託事業。稲刈り体験、調理体験、直売所見学、成果発表・交流会など楽しく「食」を親子で学ぶ2日間。2日目を担当し栄養に関するクイズを作成し参加者親子と交流を深めた。2015.11. 8（土）
	公開講座 親子料理教室 ハッピーバレンタインデー with ファーミリー 「パパズ&キッズキッチン」	公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会の一般向け啓発事業の応募に採択され助成を受け親子料理教室を開催した。「バレンタインデーにちなみ、パパと一緒に心を込めて作ったケーキをママにプレゼントしよう！」をテーマに募集に応募した親子20組（40名）を対象にボランティア学生12名も参加し公開講座を行った。2016. 1.13（土）
鈴 木 奈津子	料理レシピサイト「クックパッド」への学生考案レシピの提供	学部と連携して毎月1回、『小児が不足しやすい栄養を補える料理』をコンセプトに学生考案のレシピをクックパッドに掲載し、レシピ検索を通して本学のPR活動を行った。
	スーパー食育スクール事業・学校における食育推進プロジェクト新地町第3回推進委員会	スーパー食育スクール事業における児童生徒の生活活動調査に関するデータの集計、分析等に携わった。
	日本フードスペシャリスト協会主催	平成27年度 料理教室「パパズ&キッズキッチン」2016. 2.13
石 川 雅 子	料理レシピサイト「クックパッド」への学生考案レシピの公開	郡山女子大学家政学部と短大家政科食物栄養専攻の学生が考案したレシピをクックパッドに掲載し、レシピ検索を通して本学のPR活動を行った。（レシピコンセプト「小児が不足しやすい栄養を補える料理」）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
茂 木 恭 子	「パパズ&キッズキッチン」 (共催：日本フードスペシャリスト協会)	料理に興味のある親子を対象に調理実習を行った。(2016. 2.13)
三 瓶 令 子	全国大学音楽教育学会	副理事長 学会運営と諸議題についての検討
	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	会長 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	理事・監事 東北ブロックの運営と、監事監査
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験実技試験 採点委員	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験（ピアノ）試験官 として採点を行った。(2015,10,18)
	郡山市地方社会福祉審議会委員	児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。年に数回開催。
	郡山市私立幼稚園連合会講師 サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）	講師 「音楽で育つ子どもの世界」 養成校学生の実習・就職志向について（2015. 8. 4）
富士盛 公 年	「白河っ子応援事業」 評価委員	白河市の子育て応援事業のスーパーバイザー 発達障がいやグレーゾーン の子どもの保護者の相談にのり、保育士や幼稚園教諭をサポートする 事業の指導助言
	川越市福原小学校保健委員会スーパーバイザー	川越市福原小学校のPTA保健委員会で保健教育活動への指導助言
一 柳 智 子	民族藝術学会 理事	民族藝術学会東京事務所の年3回の定例研究会の企画運営
	比較舞踊学会 理事	比較舞踊学会誌『比較舞踊研究』編集委員
	舞踊学会 大会実行委員	舞踊学会平成27年度福島大会の企画運営

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	特定非営利活動法人民俗芸能を継承するふくしまの 会 理事	平成27年度「地域のたから」民俗芸能復興サポート事業民俗芸能講座司 会進行
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	郡山市教育委員会の所掌する事務の管理及び執行の状況について、点検 及び評価。
早 川 仁	県南美術協会	展覧会作品審査・運営等
	サマーリフレッシュプログラム (教員免許更新講習) 7月31日(木)	「創作イメージと描画表現力を育む」講師
	郡山私立幼稚園協会会議 8月4日(火)	養成校学生の実習・就職動向について講演
草 野 葉 子	郡山市私立幼稚園協会	平成27年度郡山市私立幼稚園協会研究部「第1回全体研修会」講師。 「木工製作」の講座にて、基本となる道具の特徴と使用方法の説明及び 木材加工の体験研修を行う。
	郡山市私立幼稚園協会	平成27年度郡山市私立幼稚園協会教員研修会、「造形」分科会講師。 子どもの描画活動の意味についての講話と基本的な描画材や植物を取り 入れた表現体験を行う。
	第60回東北造形教育研究大会福島大会	幼稚園部会、造形遊び 木・布・紙「広がれ！ぼくたちわたしたちの世 界！」の指導助言者。
	矢吹町職員研修会	矢吹町の幼稚園・保育園に勤務する教職員対象の保育講座講師。 「絵を描くってどういうこと」をテーマに、描画活動と子どもの心と成 長に関する講話とクレパス等の基本的描画材と植物を組み合わせた表現 体験を行う。
小 林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員	郡山市立小・中学校に在学する心身に障がいや有する児童生徒の教育的 措置や適正な就学について検討する。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	多摩地区特別支援教育研究会相談役	東京都多摩地区の特別支援教育に関する教育・研修団体の相談役として研修会運営等の支援を行う。
	福島県福祉人材センター運営委員会委員	福祉人材の確保、定着を目的とする組織であり、求人、求職双方が現状と課題について意見交換を行う。
	福島県社会福祉協議会 福祉研修事業運営委員会 委員	本委員会は県社会福祉協議会が企画する研修事業の体系的、効果的な運営を図ることを目的とする。
	三春町子ども・子育て支援会議委員（会長）	「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として会長を務めた。
	（講演会講師等） 郡山市私立幼稚園協会平成27年度幼児教育センター B分科会	平成27年6月24日（水）会場：たから幼稚園 講演「共に育つ保育」
	2015年度福島東稜高等学校第3回現職研修	平成27年6月29日（月）会場：福島東稜高等学校 講演「今現場に求められる特別支援教育」
	平成27年度全日本私立幼稚園幼児教育研究機構免許 状更新講習、福島県私立幼稚園連合会10年経験者教 員研修会	平成27年7月23日（木）会場：清稜山倶楽部 講演「幼稚園をめぐる教育の最新事情 子どもの発達と新たな課題」
	平成27年度郡山市特別支援教育研究会 夏季研修会	平成27年7月24日（金）会場：安積総合学習センター 講演「今後の特別支援教育の在り方について」
	平成27年度KGCサマーリフレッシュプログラム	平成27年7月27日（月）会場：郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」
	平成27年度福島県立相馬養護学校夏期特別支援教育 セミナー	平成27年7月31日（金）会場：相馬市総合福祉センターはまなす館 講演「地域で共に学び、共に生きる」
	平成27年度福島県私立幼稚園連合会 第2回中堅教員研修会	平成27年8月3日（月）会場：ウェディングエルティ 講演「障がいのある子や疑いのある子への支援と保護者への対応」

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	三春町教育委員会合同研修会	平成27年8月19日(水) 会場：三春町立三春小学校 講演「思春期の育ちを支える特別支援教育」
	平成27年度東京都大島出張所管内特別支援教育 コーディネーター研修会	平成27年8月24日(月) 会場：東京都教職員研修センター 講演「特別支援教育における組織的な対応と保護者・関係機関との連携 の方法」
	平成27年度にしみたか学園教育支援推進研修会	平成27年8月31日(月) 会場：三鷹市立第二中学校 講演「障がいのある子や疑いのある子への支援と保護者への対応」
	平成27年度世田谷区特別支援教育研究協議会 知的障害学級部研究部会	平成27年10月23日(金) 会場：世田谷区立芦花小学校 講演「インクルーシブ教育と特別支援学級の実践」
	郡山市私立幼稚園協会 平成27年度幼児教育センターB分科会	平成27年11月4日(水) 会場：双葉第二幼稚園 講演「共に育つ保育」
	平成27年度青梅市中学校教育研究会・西多摩中学校 教育研究会合同研修会	平成27年12月7日(月) 会場：青梅市立霞台中学校 講演「今後の中学校における特別支援教育」
	平成27年度小金井市立緑中学校特別支援教育研修会	平成28年2月1日(月) 会場：小金井市立緑中学校 講演「特別な支援が必要な生徒へのアプローチ」
山 上 裕 子	社団法人郡山医師会 郡山看護専門学校	「教育学」の講師
鈴 木 祥 子	福島県保育者養成連絡会研究部会	福島県内の保育者養成校の実習担当者で、実習が円滑に運営されるよう 研究に携わる。
折 笠 国 康	公益社団法人 福島県私立幼稚園連合会	少子化の中の家庭支援・地域連携にかかわる研修会の講師 2015. 7.22 清稜山倶楽部
	日本教育心理学会	シンポジウム話題提供 学級集団の理解と集団の成熟度支援と子どもの育ち－教育社会心理学研 究のこれから－ 2015. 8.28 新潟コンベンションセンター

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市 こども部こども育成課	子どもの自己肯定感を育てる子育て・親育ちにかかわる研修会の講師 ほめない・叱らない子育てとは 2015. 9.17 西田保育所
	九州心理学会	シンポジウム話題提供 子どもの自主性・主体性を伸ばす「勇気づけ」のコミュニケーション ー子育てと教育の現場からー 2015.11.15 大分県立芸術文化短期大学
	山形県小国町 学校教育研究所	全体研修会の講師 ハイパー QUの活用の仕方 2015.11.20 小国町立小国小学校
永 瀬 悦 子	平成27年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員 免許更新講習）	講師 幼稚園教諭を対象とした講義「子どもの病気と保育～健康状態の 観察と症状の対処法について～」を担当。
	福島県私立幼稚園連合会	平成27年度教員研修会の講師「幼稚園教諭等に知っておいてほしい子ど もの保健」というテーマで新任教員を対象とした講義を行った。
	第24回菊池記念こども保健医学研究所	講演会「人間形成を根底にした命の健康教育～生命誕生に着目して～」 のテーマで講演を行った。
	福島県立光南高等学校の幼稚園教諭・保育士希望の 生徒（2年生）	家庭科系列進路講演会 講師「赤ちゃんの不思議な能力」というテーマで講演会を行った。
	福島県立若松商業高等学校の幼稚園教諭・保育士希 望の生徒（2年生）	模擬授業 講師「赤ちゃんの不思議な能力」というテーマで模擬授業を行った。
	郡山女子大学附属高等学校の2年生	思春期保健講座 講師「命のつながり（高校編）～妊娠・出産・子育て～」というテーマ で、次世代を担う高校生に対し母子保健に関する講話を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	ポラリス保健看護学院（保健師・看護師統合カリキュラム）の4年生	非常勤講師 教科名「母子保健活動論」を担当。母子保健の政策・母子保健に関する制度・法律、母性各期における看護、乳幼児健診等の地域における母子保健について講義を担当。
	岩江小学校 3年生	健康教育講師 胎児が母親のお腹の中で成長していく過程や新生児のもつ能力の不思議さや母子の愛着形成過程について画像を使いわかりやすく説明した。
	御木沢小学校 6年生	健康教育講師 生命誕生、生命の神秘、命の繋がり、周囲の愛情をもって自分が生まれているという内容の健康教育を行った。
	三春小学校 6年生	健康教育講師 生命誕生、生命の神秘、命の繋がり、周囲の愛情をもって自分が生まれているという内容の健康教育を行った。
	三春中学校 3年生	健康教育講師 性感染症の疾患と予防、自分を大切にすることの健康教育を行った。
ポール・バーナミイ Paul Vonnahme	国際交流特別講座	English Lecturer : This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students are speaking and expressing English in a relaxed and friendly atmosphere. Students may prepare topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker. Many students have continued this class for more than four intervals.

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	Coaching & Leadership : This is a school club that cooperates with other clubs throughout Tohoku, Kanto, and also Kansai. Events take place in Yamagata, Koriyama, Saitama, Yokohama and Kobe. This a college sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
古 川 督	福島県矢吹町教育委員会	矢吹町子ども・子育て会議の学識経験者として委員を務める。 (平成26年7月～)
	社会福祉法人ゆめみの里 職員研修講師	同法人児童養護施設森の風学園における月1回の職員研修の講師として、実務に即した内容の研修を行う。(平成27年5月～)
	教員免許状更新講習(幼稚園課程)講師	幼稚園教諭を対象に「子どもの権利擁護」をテーマに講義を行う。
柴 田 卓	郡山市私立幼稚園協会	講師 教員研修会
	公益社団法人福島県私立幼稚園連合会	講師 平成27年度 教員研修会
	福島大学	講師 平成27年度 教員免許状更新講習
	一般社団法人 みどりの東北元気プログラム実行委員会	理事 野外活動指導者と心理・医療チームが協力し、子どものPTSD未然防止と、「持続可能な社会の構成者を育成する」ことを目的とし、2011年より「みどりの東北元気キャンプ」を開催 プログラムディレクターとして現在に至る。
	みやぎ野外教育ネットワーク	会長
	みやぎアウトドアフォーラム実行委員会	委員長
久 家 三 夫	世界ベンチ・イス創作コンテスト実行委員会	実行委員としてコンテストの開催に協力。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	第69回 郡山市総合美術展	洋画部門審査員として審査を行った。
浅 野 章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動
	国画会	絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の情報・話題を中心として福島民報新聞社に記事を提供する。
	国画会絵画部チャリティー事業	出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて、第89回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額を東日本大震災義援金として寄付した。
	福島県総合美術展	招待作家
	郡山市総合美術展	招待作家
	郡山市景観づくり審議会	委員 色彩の学識経験者として郡山市の景観について審議およびアドバイスをした。横須賀市、鎌倉市の景観を視察し当該市と意見交換をした。 また「平成27年度・郡山市景観まちづくり賞」の審査をした。
小 松 太 志	葛尾村イメージキャラクター検討会	福島県双葉郡葛尾村の震災復興事業であるイメージキャラクター制作に関わる広報活動支援。
松 田 理 香	有限会社 国安工業所	有限会社 国安工業所 ロゴマークデザイン
	葛尾村イメージキャラクター検討会	福島県双葉郡葛尾村の震災復興事業であるイメージキャラクター制作に関わる広報活動支援。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
黒 沼 令	岩手県高等学校文化連盟	楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞） トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作
	第67回郡山市民文化祭実行委員会	第59回郡山市総合美術展 彫刻・工芸部門審査員
	郡山市中央公民館	彫刻の鑑賞の仕方を内容とした、「芸術を味わおう！享受力講座」という講座名の郡山市民学校の講師を務めた。
草 野 順 子	葛尾村イメージキャラクター検討会	福島県双葉郡葛尾村の震災復興事業であるイメージキャラクター制作に関わる広報活動支援。
岡 部 富士夫	郡山女声合唱団	常任指揮者 指導・演奏
	郡山市民オーケストラ	ミュージックアドバイザー 指導・演奏
	日本作曲家協議会	会員 作品発表
	JFC東北	会員 作品発表
	NHKコンクール他	審査員
	NHK文化センター	講師 クラシックサロン
	合唱団風	常任指揮者 指導・演奏
	郡山吹奏楽団	指揮者 指導・演奏
	福島オペラ協会	理事
	あさかの学園大学	講師 クラシック音楽入門その他
	全日本声楽アンサンブルコンテスト実行委員会	委員 企画・運営
	郡山市文化・学び振興公社	評議員

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
深 谷 登喜子	須賀川市文化センター審議委員 (副委員長) 郡山女声合唱団専属ピアニスト	須賀川文化センターの運営等に関する審議
横 溝 聡 子	第25回東北青少年ピアノコンクール仙台地区大会 第11回日本放送文化大賞<ラジオ部門>地区審査会 第25回日本クラシック音楽コンクール福島予選	仙台地区ピアノコース予選会において審査委員を務めた。 北海道・東北地区（AM・FMラジオ局16社）の作品を審査し、中央審査会への地区代表作品を選出した。 福島予選ピアノ部門において審査員を務めた。
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟 全日本楽教育研究会 福島県声楽協会 高声会 KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習) 郡山女声合唱団 東日本大震災復興支援 「ゆうやけの歌」フェスティバル	副代表 各種コンサートの楽曲解説、音楽鑑賞教室の企画、高校生のためのコンサート企画、講習会企画を行った。 会員 全国大会において「歌唱共通教材の修辞学的音楽解釈による教育実践報告～小・中学校における教育現場での授業実践を通して～」の研究発表を行った。 会員 11月15日に行われたコンサートにおいて、プログラム企画、楽曲解説を担当した。 会員 講師 「音楽科指導法」、「歌唱法」の講義を担当した。 ヴォイストレーナー 合唱指導 9月23日会津風雅堂で開催されたコンサートの合唱指導を行った。
野 澤 謙 治	須賀川文化財保護審議会副会長 超学際的研究機構研究委員	須賀川市の文化財の指定について審議 産学連携研究

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	福島県立博物館収集展示委員会委員	博物館の資料収集と展示企画についての審議
	郡山市歴史資料保存整備検討委員会委員	市の保有する歴史、考古、民俗資料の保存、活用、文書館設立についての審議
	郡山市あさかの学園講師	市の生涯学習講座の講師
	日本風俗史学会理事 東北・北海道支部長	
二 宮 和比古	白河市立図書館協議会委員	平成25年より現代に至る。
齋 藤 美保子	福島県文化振興事業団評議員会	委員として事業団の平成27年度の運営全般について評議した。
	福島県立美術館評議委員会	委員として美術館の平成27年度の運営全般について評議した。
	郡山市美術品選定委員会	委員として美術館の各展示を詳細に鑑賞した。
何 燕 生 (福島寅太郎)	「正法眼蔵を読む会」講師	仙台市太白区にある曹洞宗の寺院福聚院を会場とした一般市民向けの勉強会。震災は5年も経過し、人々の心が漸く少しずつ落ち着きを取り戻す中、古典に触れてみたいという要望に応えるために企画したもの。隔月1回実施、毎回は40数名が参加。中には、はるばる岩手県二戸市からわざわざ来る方もいた。次年度も継続実施する予定。
桑 野 聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
阿 部 俊 夫	福島県文化財保護審議会委員	県内文化財の保存及び活用に関する重要事項についての調査審議。県指定文化財候補として、18C末～19C初頭「相馬野馬負図屏風」を推薦し、他の文化財候補と共に審議し答申した。

